

神埼市の概要

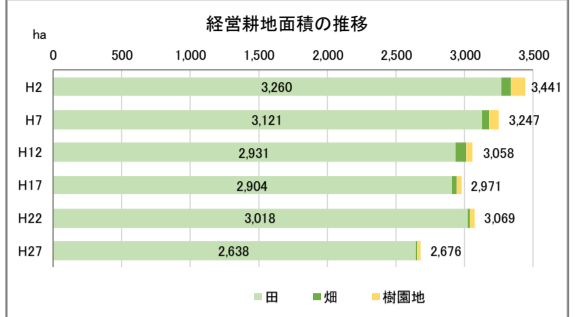
項目	概要	関連資料																																																																			
地勢	<ul style="list-style-type: none"> 北部 <ul style="list-style-type: none"> 中起伏、小起伏が混在する山地(一部丘陵地)で、花崗岩類の地質 山林が84%を占め、農地等を含む自然的土地利用は96% 中部 <ul style="list-style-type: none"> JR長崎本線以南は泥状沖積層の三角州状低地、長崎自動車道以南は砂状沖積層の扇状地、以北は花崗岩類からなる小起伏山地 自然的土地利用が74%を占め、宅地は12% 南部 <ul style="list-style-type: none"> 泥状沖積層の三角州状低地でクリークが特徴 山林がなく、農地が62%を占め、宅地12%、水面11%で、クリークが発達しているのが当地域の大きな特徴 		<p>地域別土地利用現況面積の割合</p>																																																																		
	<ul style="list-style-type: none"> 千代田町と神埼町中南部では、大雨時に城原川の両岸で0.5~3.0mの浸水想定 脊振町と神埼町北部では、崖崩れや災害時の集落孤立などが発生する恐れ 																																																																				
	<ul style="list-style-type: none"> 人口は31,842人、世帯数は10,913世帯(H27) 総人口は増加が続いていたが、平成17年から減少に転じた 昼間流出流入人口は、通勤通学により約2,300人の流出超過(H27)(多くの市町との間で流出超過傾向) 佐賀市、吉野ヶ里町、鳥栖市、その他の隣接町との流動が大きい 人口ピラミッドによる5歳階級別人口構成の10ヵ年ごとの推移をみると、次のような傾向がある <ul style="list-style-type: none"> ○15歳未満人口が大きく減少している ○15歳から64歳までの生産年齢人口は、団塊世代の年齢が高くなるとともに総数は減少する傾向にある ○65歳以上の高齢者は各年齢層とも大きく増加しており、特に75歳以上の高齢者は20年前の倍を越えている 500mのメッシュによる市内の人口の分布(H27)を見ると、長崎自動車道の南側では、ほとんどの地域に人口定着が見られるのに対して、北側では人口が定着する地域が少ないという傾向が見られる JR神埼駅周辺、国道34号以北の平野部分や千代田地域の佐賀市に近い地域に人口増加がみられる 		<p>年齢3区分別人口推移と推計(社人研推計)</p> <p>年齢3区分別人口推移と推計(人口ビジョン)</p> <p>年齢階級別人口の推移</p> <p>人口動態(増減数)の推移</p>																																																																		
就業人口	<ul style="list-style-type: none"> 就業人口全体は、横ばい傾向で推移(H27 15,837人) 第一次産業は減少、第二次産業は横ばいで推移している一方で、第三次産業は就業人口が大きく増加 製造業就業者の割合が県平均より高い 		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">市内従業者数(H27)</th> <th colspan="2">神埼市</th> <th rowspan="2">県割合</th> </tr> <tr> <th>従業者数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林漁業</td> <td>1,428</td> <td>10.6%</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>鉱業・建設業</td> <td>1,131</td> <td>8.4%</td> <td>8.1%</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>3,103</td> <td>23.1%</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>電気水道、情報通信</td> <td>50</td> <td>0.4%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>運輸、郵便業</td> <td>698</td> <td>5.2%</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>卸小売業</td> <td>1,576</td> <td>11.7%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>金融保険・不動産業</td> <td>229</td> <td>1.7%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>宿泊業、飲食サービス業</td> <td>618</td> <td>4.6%</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>生活関連サービス、娯楽業</td> <td>385</td> <td>2.9%</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>教育、学習支援業</td> <td>634</td> <td>4.7%</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>医療、福祉</td> <td>1,564</td> <td>11.7%</td> <td>14.9%</td> </tr> <tr> <td>その他サービス業</td> <td>948</td> <td>7.1%</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>公務</td> <td>659</td> <td>4.9%</td> <td>4.1%</td> </tr> <tr> <td>分類不能</td> <td>400</td> <td>3.0%</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>13,423</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料: 国勢調査</p>	市内従業者数(H27)	神埼市		県割合	従業者数	割合	農林漁業	1,428	10.6%	8.4%	鉱業・建設業	1,131	8.4%	8.1%	製造業	3,103	23.1%	16.0%	電気水道、情報通信	50	0.4%	1.4%	運輸、郵便業	698	5.2%	5.1%	卸小売業	1,576	11.7%	14.4%	金融保険・不動産業	229	1.7%	2.9%	宿泊業、飲食サービス業	618	4.6%	5.1%	生活関連サービス、娯楽業	385	2.9%	3.5%	教育、学習支援業	634	4.7%	4.7%	医療、福祉	1,564	11.7%	14.9%	その他サービス業	948	7.1%	8.5%	公務	659	4.9%	4.1%	分類不能	400	3.0%	3.0%	総数	13,423	100.0%	100.0%
市内従業者数(H27)	神埼市		県割合																																																																		
	従業者数	割合																																																																			
農林漁業	1,428	10.6%	8.4%																																																																		
鉱業・建設業	1,131	8.4%	8.1%																																																																		
製造業	3,103	23.1%	16.0%																																																																		
電気水道、情報通信	50	0.4%	1.4%																																																																		
運輸、郵便業	698	5.2%	5.1%																																																																		
卸小売業	1,576	11.7%	14.4%																																																																		
金融保険・不動産業	229	1.7%	2.9%																																																																		
宿泊業、飲食サービス業	618	4.6%	5.1%																																																																		
生活関連サービス、娯楽業	385	2.9%	3.5%																																																																		
教育、学習支援業	634	4.7%	4.7%																																																																		
医療、福祉	1,564	11.7%	14.9%																																																																		
その他サービス業	948	7.1%	8.5%																																																																		
公務	659	4.9%	4.1%																																																																		
分類不能	400	3.0%	3.0%																																																																		
総数	13,423	100.0%	100.0%																																																																		

農業

- 農家戸数が大きく減少
- H27の耕作放棄地は、経営耕地の2.7% (82ha)を示しH17から増加しているが、県下の他の市町と比較すると、低水準にとどまっている(県平均10.3%)
- 経営耕地は、田が98%を占める

表 耕作放棄地面積

	耕作放棄地 (ha)	経営耕地面積 (ha)	耕地面積に対する割合	同 県平均
H17	64	3,003	2.1%	8.6%
H22	72	3,069	2.3%	9.2%
H27	82	2,969	2.7%	10.3%



製造業・商業

- 商店、製造業者の数は減少傾向
- 商業・製造業の従業者も全体では減少傾向
- 製造業は食料品と輸送用機械で従業員数合計の過半を占める
- 製造品出荷額、卸売販売額は近年伸びを示すが、小売販売額は減少傾向
- 小売販売水準が低水準、市内に大型店の立地は少なく購買客は流出傾向

商業の推移

	合計			卸売業計			小売業		
	商店数	従業者数	年間販売額 (百万円)	商店数	従業者数	年間販売額 (百万円)	商店数	従業者数	年間販売額 (百万円)
H16	361	1,896	38,263	50	317	13,346	311	1,579	24,917
H19	345	1,980	34,668	49	369	13,584	296	1,611	21,084
H24	238	1,291	31,470	49	339	17,641	189	952	13,829
H26	244	1,476	43,767	48	386	24,210	196	1,090	19,557
H26-H16	-117	-420	5,504	-2	69	10,864	-115	-489	-5,360

製造業の推移

	事業所数 (箇所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (百万円)
H12	101	2,712	82,118
H17	97	3,153	97,224
H22	80	2,669	97,138
H23	85	2,586	86,782
H24	80	2,777	84,497
H25	76	2,762	89,872
H26	77	2,750	100,821

資料:工業統計

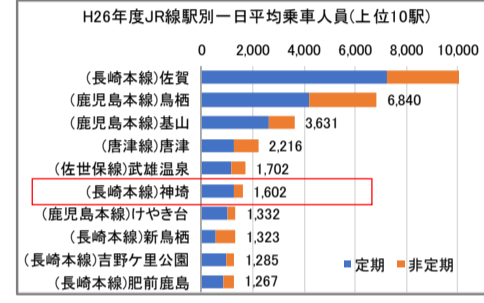
市町別小売水準

	人口一人当たり販売額 (万円/人)	対県水準値
佐賀県	85.1	1.00
佐賀市	105.3	1.24
唐津市	72.3	0.85
鳥栖市	98.2	1.15
多久市	57.0	0.67
伊万里市	79.9	0.94
武雄市	105.7	1.24
鹿島市	90.8	1.07
小城市	64.8	0.76
嬉野市	60.6	0.71
神埼市	61.4	0.72



交通体系

- 東西方向に広域幹線道路が経由し、佐賀中部地域の広域交通体系の一部を構成
- 市内南北方向の軸は、東西方向に比べ脆弱
- 鉄道利用者数は県下の60駅中、第6位



県下都市との比較

【人口・世帯】

- 各指標とも、人口規模の順位から見るとやや低位にあり、都市間比較においては活力が十分ではない傾向がある
- 小城市に比べて佐賀市の隣接地としての影響は小さい

【経済】

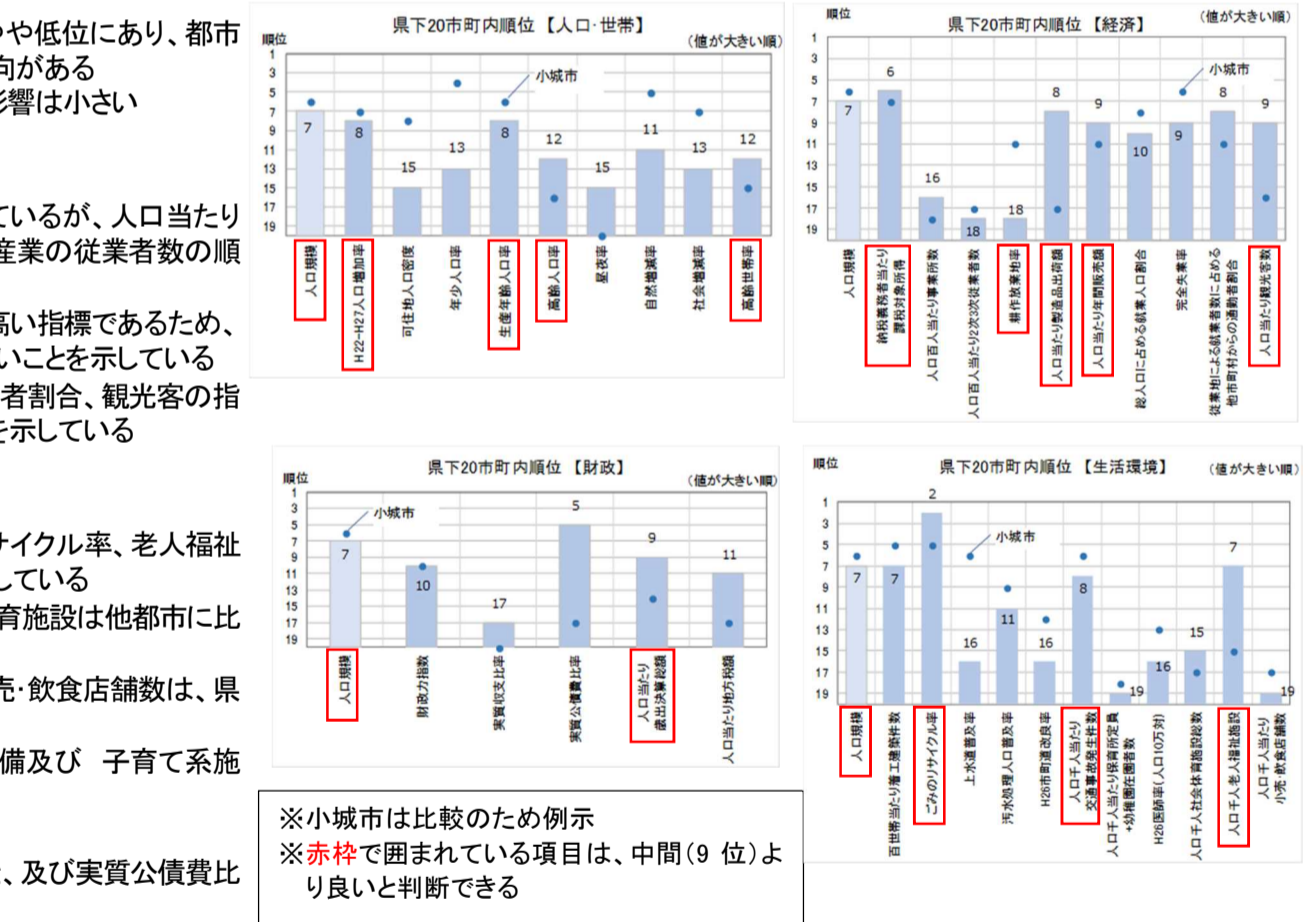
- 全体的に人口規模と同水準の順位となっているが、人口当たりの事業所数や人口当たりの第二次、三次産業の従業者数の順位は低位に位置する
- 耕作放棄地率は、値が大きいほど順位が高い指標であるため、本市の18位というのは耕作放棄地が少ないことを示している
- 出荷額、年間販売額、就業人口、通勤流入者割合、観光客の指標は、それぞれ人口規模順位に近い傾向を示している

【生活環境】

- 生活環境指標のうち、建築着工、ゴミのリサイクル率、老人福祉施設数については人口規模の水準に近似している
- 上下水道普及率、道路改良率、医師数、体育施設は他都市に比べて、やや整備状況が低位にある
- 保育所幼稚園在園者数と人口当たりの小売・飲食店舗数は、県下で最低に近い(19位)水準である
- 以上から、道路、上下水などのインフラ整備及び子育て系施設の整備の必要性が高いといえる

【財政】

- 財政では、実質収支比率が低位にあること、及び実質公債費比率が高位にあることが目立っている
- 平成26年度の神埼市実質公債費比率は、13.9%となっている



まとめ

- 吉野ヶ里遺跡や九年庵など知名度が高い歴史資源に加え、山林、河川等の自然とクリーク、田園などが調和し、変化に富んだ地域資源を有している。
- 佐賀市を始め周辺に就業の場が比較的多く分布していることから、佐賀広域都市圏東部エリアの大都市近郊型都市として、活力と特性が認められる。
- その一方で、同じ大都市近郊型都市である小城市、吉野ヶ里町、上峰町と比べ、通勤利便性、土地利用条件など同等であるにもかかわらず、住宅の空き家・空き室が多く、定住が進んでいない状況にある。
- 立地条件から、都市的サービスの利便性は高い反面、市内には雇用の場や買回り品を扱う店舗の立地が少なく、農地と住宅地が混在した郊外住宅地という性格の都市となっている。
- 東西方向の交通利便性は高いが、南北方向の軸は東西方向に比べて脆弱である。
- 耕作放棄地など土地利用上の問題は、他都市と比較すると現段階では深刻化していないが、少子高齢化の進行を受けて将来的に活用されていない土地の増加が危惧される。

市民アンケート調査 結果まとめ（暫定版）

1. 調査概要

（1）調査の目的

神埼市の住みよさや印象、これまでのまちづくりへの評価や今後のまちづくりに対する考え方等を把握し、「第2次神埼市総合計画」の策定に反映することを目的に、アンケート調査を実施した。

（2）調査対象・方法・期間

- 調査対象：18歳以上の市民の中から、2,000名を無作為に抽出
- 調査方法：調査票の郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成29年7月31日（発送）～8月14日

（3）サンプル数

- 本資料のサンプル数（平成29年8月14日回収分までを対象としている）

配布数	回答数	回収率
2,000	519	26.0%

（4）留意事項

表中、グラフ中の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しており、そのため、各選択肢の構成比の合計が100%にならない場合がある。

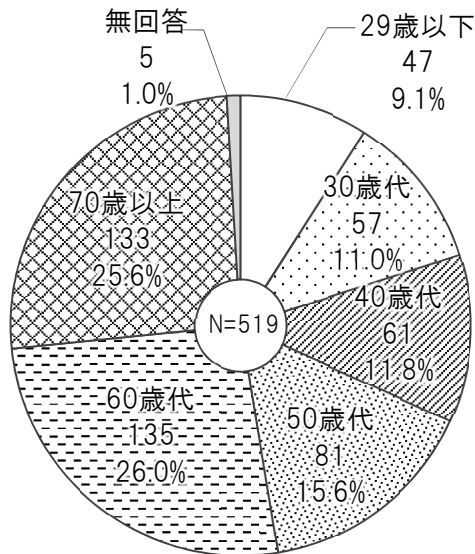
2. アンケート調査結果

I. あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】 あなた自身のことについてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

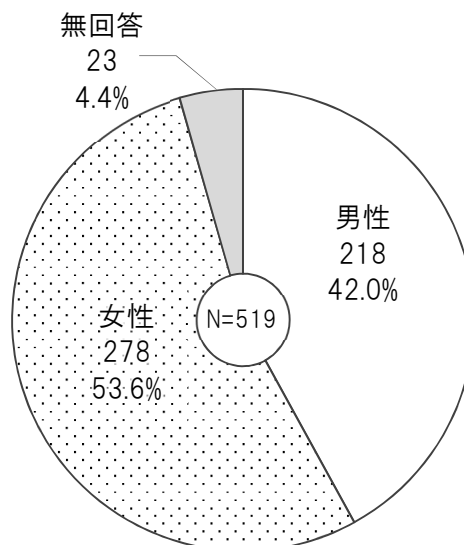
① 年齢

「60歳代」と回答した人が26.0%で最も多い。次いで「70歳以上」と回答した人が25.6%、「50歳代」と回答した人が15.6%で60代以上の回答が全体の半数を占めている。



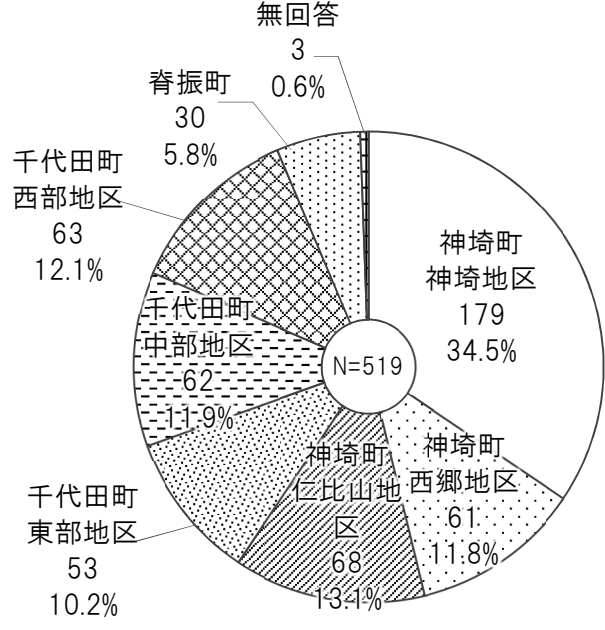
② 性別

「男性」と回答した人が42.0%、「女性」と回答した人が53.6%で若干女性の回答が多い。



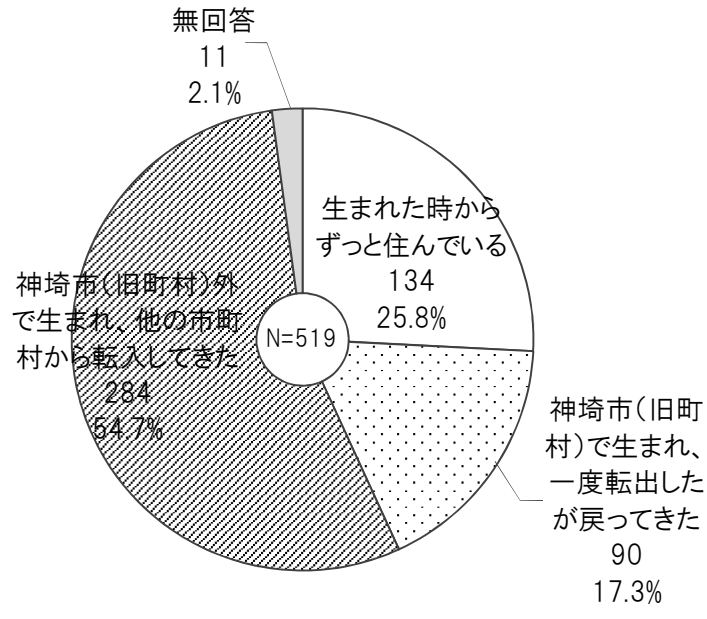
③ お住まいの地域

「神埼町神埼地区」と回答した人が 34.5% で最も多い。次いで、「神埼町仁比山地区」と回答した人が 13.1%、「千代田町西部地区」と回答した人が 12.1%、「千代田町中部地区」と回答した人が 11.9% となっている。



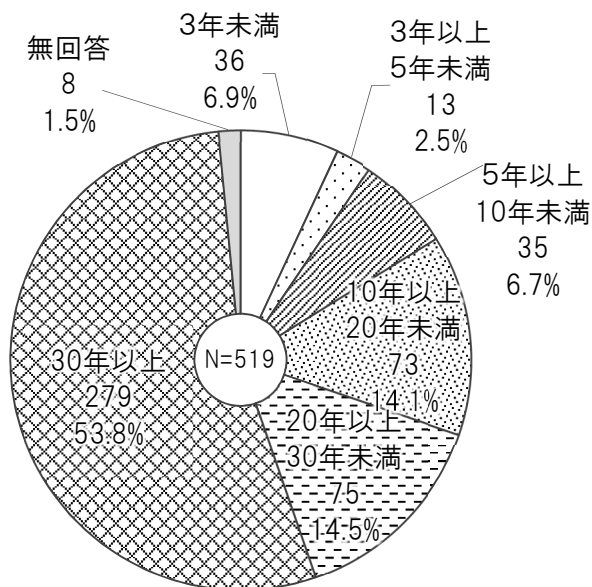
④ 神崎市でのお住まい状況

「神崎市（旧町村）外で生まれ、他の市町村から転入してきた」と回答した人が 54.7% で最も多い。次いで、「生まれた時からずっと住んでいる」と回答した人が 25.8%、「神崎市（旧町村）で生まれ、一度転出したが戻ってきた」と回答した人が 17.3% となっている。



⑤ 神崎市での居住年数は

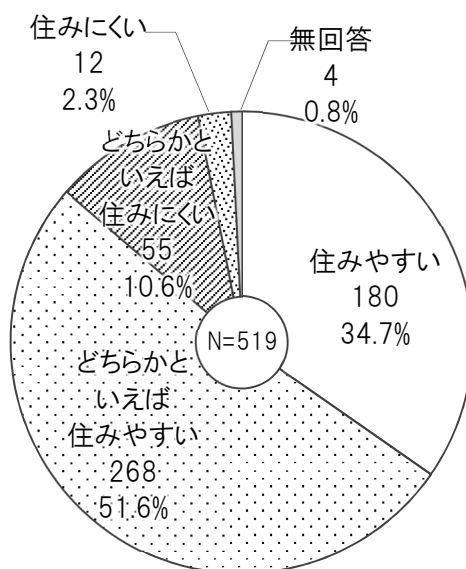
「30年以上」と回答した人が53.8%で最も多い。次いで、「20年以上30年未満」と回答した人が14.5%、「10年以上20年未満」と回答した人が14.1%となっている。10年以上の居住者が全体の8割強を占めている。



【問2】あなたは、神崎市が住みやすいと思いますか。(1つに○)

「どちらかといえば住みやすい」と回答した人が51.6%で最も多い。次いで、「住みやすい」と回答した人も34.7%と多く、神崎市を住みやすいまちだと思う人が8割台半ばを占めている。

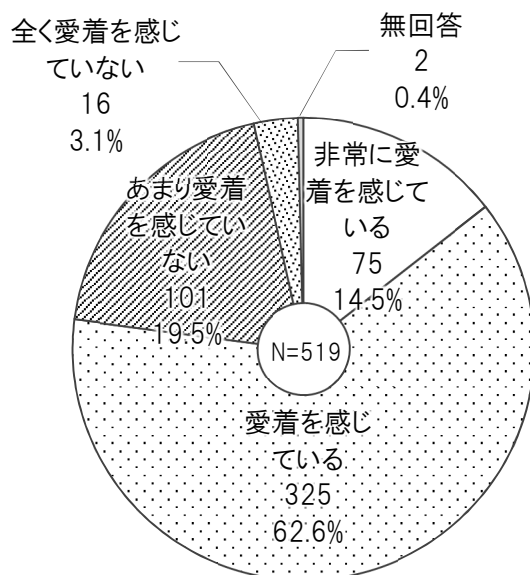
その一方で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人をあわせると、1割強の人が神崎市を住みにくいまちと感じている。



【問3】 あなたは、神崎市にどの程度愛着を感じていますか。(1つに○)

「愛着を感じている」と回答した人が 62.6%で最も多い。「非常に愛着を感じている」と回答した人は 14.5%で、神崎市に愛着を感じている人が 8 割弱を占めている。

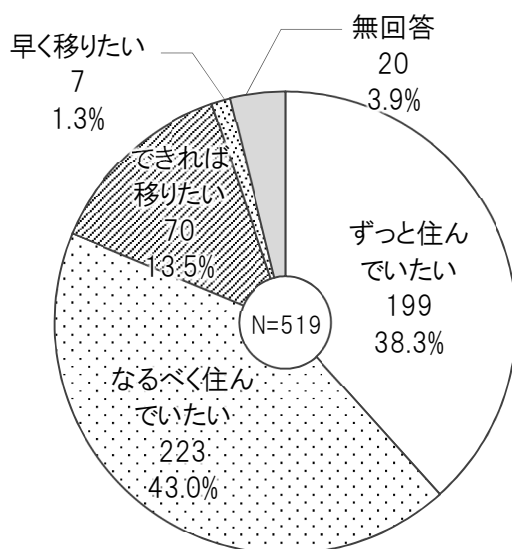
また、「あまり愛着を感じていない」と回答した人も 19.5%と約 2 割を占め、「全く愛着を感じていない」と回答した層と合わせて、神崎市への愛着を高めるしかけを行うことも必要である。



【問4】 これからも、神崎市に住みたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。(1つに○)

「なるべく住んでいたい」と回答した人が 43.0%で最も多い。次いで、「ずっと住んでいたい」と回答した人も 38.3%と多く、神崎市に住んでいたいと思う人が 8 割強を占めている。

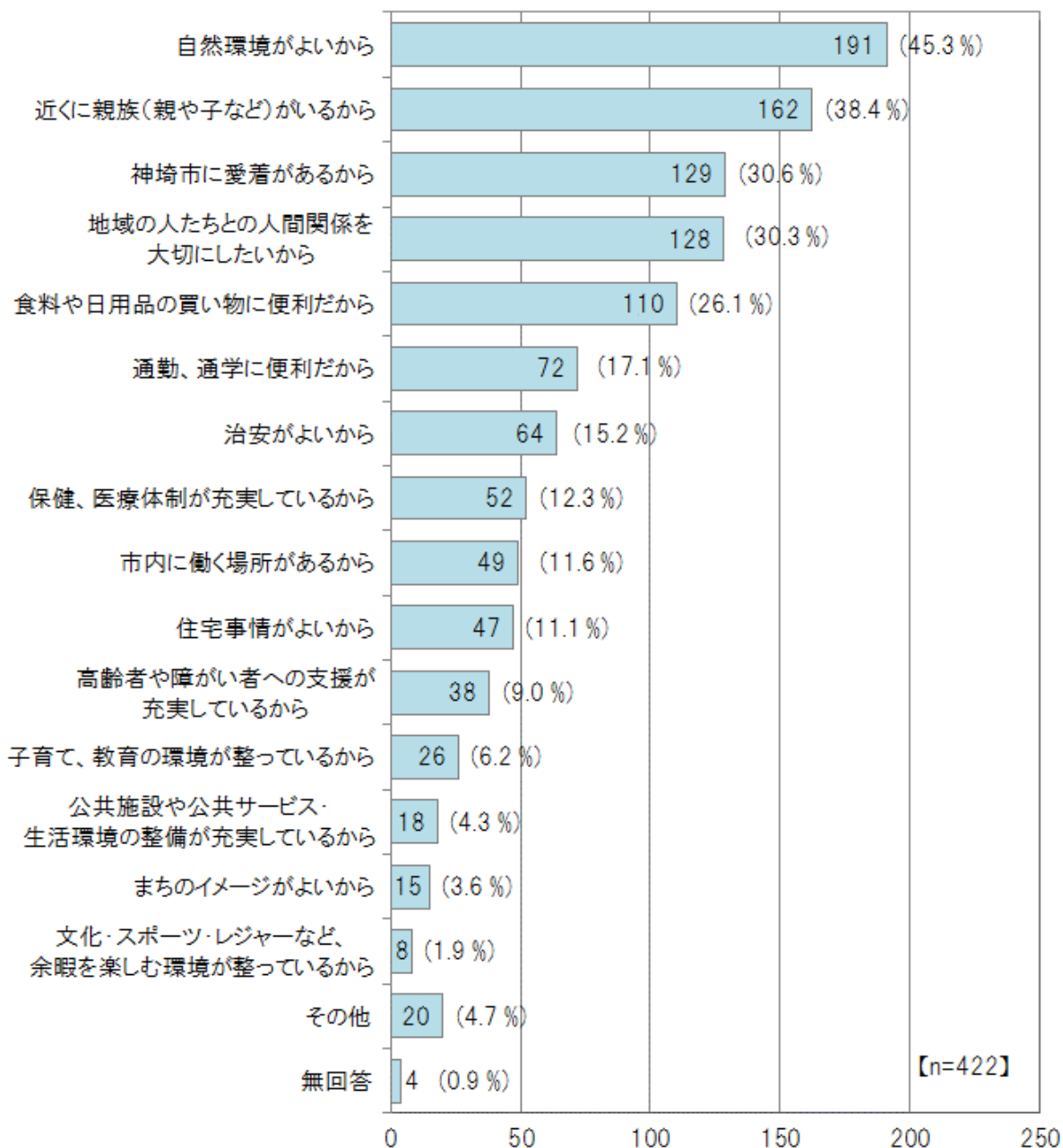
その一方で、「できれば移りたい」「早く移りたい」と回答した人をあわせると、1 割台半ばの人が神崎市から移りたいと思っている。



【問4-1】 1. ずっと住んでいたい 2. なるべく住んでいたいと回答した方

その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

「自然環境がよいから」と回答した人が 45.3%で最も多い。次いで、「近くに親族（親や子など）がいるから」と回答した人が 38.4%、「神崎市に愛着があるから」と回答した人が 30.6%、「地域の人たち



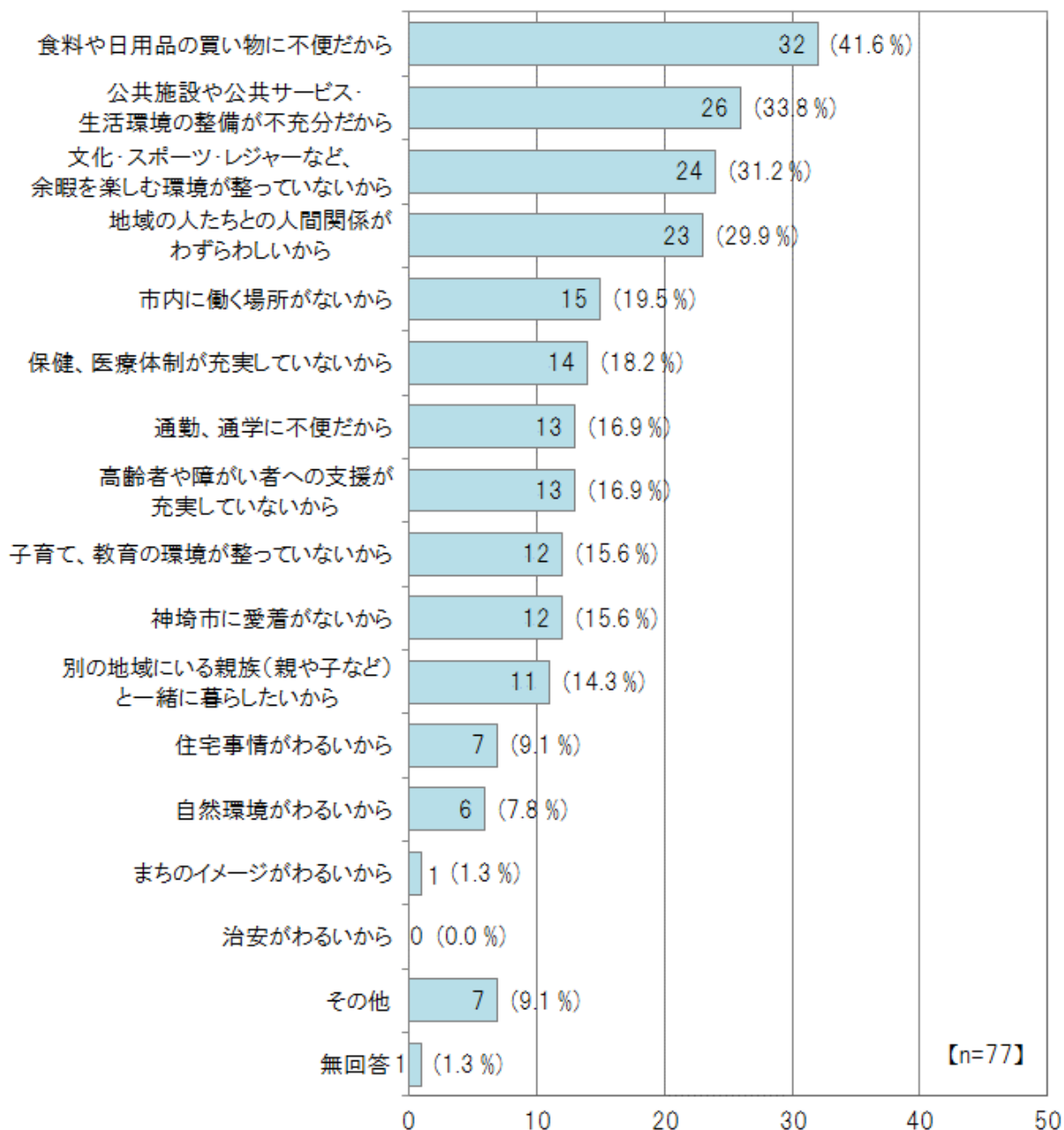
【その他の回答】

- ・家があるから
- ・建てた家のローンが残っているため、他に移れない
- ・住宅、不動産があるから
- ・ここで生まれたから
- ・他に住んだことがない
- ・高齢のため
- ・友人がいる
- ・独身でお金がないから
- ・家を建てたから
- ・結婚した夫の持ち家なので仕方がない
- ・実家があるから
- ・長年住んでおり、慣れているから
- ・40年以上過ごしたこの家に愛着がある
- ・高齢であり今更住まいは変えられない
- ・地理的条件

【問4-2】 3. できれば移りたい 4. 早く移りたいと回答した方

その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

「食料や日用品の買い物に不便だから」と回答した人が 41.6%で最も多い。次いで、「公共施設や公共サービス・生活環境の整備が不十分だから」と回答した人が 33.8%、「文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っていないから」と回答した人が 31.2%、「地域の人たちとの人間関係がわずらわしいから」と回答した人が 29.9%となっている。



【その他の回答】

- ・ 公共料金が高い
- ・ 全ての公共料金が高すぎる。住みにくい
- ・ 税金が高い
- ・ クリークが多く、子供が落ちないか心配
- ・ 都会に住んでみたいから
- ・ 高齢になって班長の役目が難しくなってきたため
- ・ 単身赴任なので

Ⅱ. 総合計画についておたずねします。

【問5】 過去 10 年間、神崎市総合計画では、まちづくりの基本理念として、市民のさまざまな生活シーンをもとに以下の 3 つを設定してきました。

【まちづくりの基本理念】

- (1) 住まう ～悠久の土地で、市民が健やかに安心して暮らし続ける～
- (2) 働く ～多様な産業基盤を築き、豊かな夢資源を活かす～
- (3) 行き交う ～次代を担う人材と地域文化を育て、市民がまちづくりの主角となる～

この 10 年間で、上記の実現に向けた取組みが進んでいると感じますか。

((1)~(3)の項目ごとに1つに○)

まちづくりの基本理念 (1) 住まう (2) 働く (3) 行き交う、全ての項目で「どちらともいえない・わからない」と回答した人が約 45%を超えて最も多い。

(1) 住まう、の項目では、次いで「やや進んだと感じる」と回答した人が 25.4%となっており、「やや進んだと感じる」「かなり進んだと感じる」と回答した人が約 3 割強で、「あまり進んだと感じない」「まったく進んだと感じない」と回答した人の約 2 割強より 1 割多くなっている。

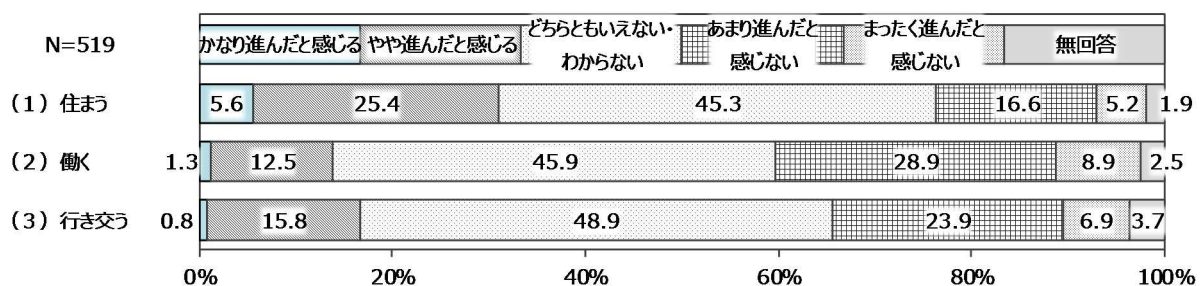
(2) 働く (3) 行き交う、の項目では「あまり進んだと感じない」と回答した人が次に多くなっている。

(2) 働く、の項目では、「あまり進んだと感じない」「まったく進んだと感じない」と回答した人が約 4 割弱で、「やや進んだと感じる」「かなり進んだと感じる」と回答した人の約 3 倍近くになっている。

(3) 行き交う、の項目でも、「あまり進んだと感じない」「まったく進んだと感じない」と回答した人が約 3 割強で、「やや進んだと感じる」「かなり進んだと感じる」と回答した人の約 2 倍近くになっている。

単位 = 上段 : %, 下段 : 件数

	全 体	だ か と な 感 り 進 る ん	と や 感 じ 進 る ん だ	わ い ど か え ち ら な ら な い ・ も	い だ あ と ま じ 進 ん	な ん ま い だ つ と た 感 く じ 進	無 回 答
(1) 住まう	100.0 519	5.6 29	25.4 132	45.3 235	16.6 86	5.2 27	1.9 10
(2) 働く	100.0 519	1.3 7	12.5 65	45.9 238	28.9 150	8.9 46	2.5 13
(3) 行き交う	100.0 519	0.8 4	15.8 82	48.9 254	23.9 124	6.9 36	3.7 19



【問6】あなたが神崎市で暮らすなかで、以下の施策について現在の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。
 ((1)~(25)の満足度と重要度それぞれ1つに○)

重要度については、すべての施策の加重平均が3.0を上回っており、各施策が「やや重要」「重要」と回答した人が多く、重要度には差はあるが、重要でない施策はないといえる。

満足度については、全施策の加重平均の平均値がおよそ2.9であり、満足度の高い施策と低い施策に差がみられる。

重要度が高いと評価されている施策の上位5つは、「高齢者・障がい者等福祉の充実」「子育て支援、児童福祉の充実」「保健・医療体制の充実」「地場産業、新産業の育成」「消防・防災・交通安全体制の充実」であり、医療福祉、産業流通、生活環境が上位を占めている。

満足度が低いと評価されている施策の下位5つは「賑わいある商工業の創出」「活気ある農林水産業の振興」「魅力ある観光の振興」「地場産業、新産業の育成」「道路・交通網の整備・充実」であり、産業振興、インフラ整備に関する施策が下位を占めている。

課題性の高い施策(平均より重要度が高く、満足度が低い施策)としては、「地場産業、新産業の育成」「賑わいある商工業の創出」「活気ある農林水産業の振興」「魅力ある観光の振興」「豊かな自然環境の保全と活用」「道路・交通網の整備・充実」「上・下水道の整備」「定住を促進する環境の整備」の8つの施策があげられる。

凡例	分類	第2次神崎市総合計画の基本目標
●	保健福祉	1.健やかに安心して暮らせるまちづくり 【保健・福祉・医療】
■	産業流通	2.力強く活力のあるまちづくり 【産業振興・観光振興】
▲	生活環境	3.環境にやさしく住みやすいまちづくり 【自然環境・都市基盤・定住促進】
×	教育文化	4.創造性豊かで輝く人の育つまちづくり 【教育・文化・交流】
*	行財政・協働	5.みんなで協働して進めるまちづくり 【行財政改革・市民参画】

【加重平均の算出方法】

①現在の満足度

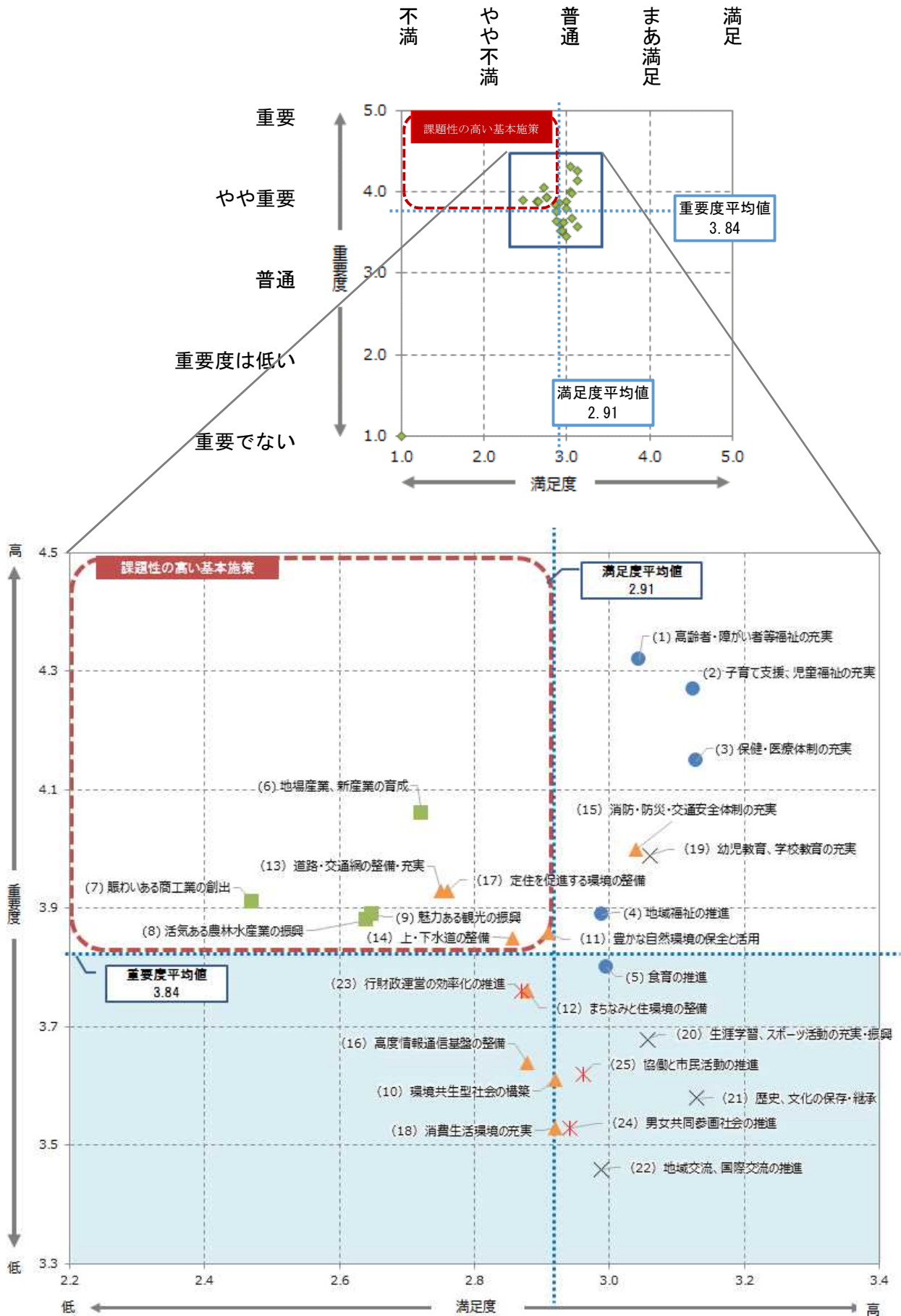
満足している：5点
 どちらかといえば満足している：4点
 どちらともいえない：3点
 どちらかといえば不満である：2点
 不満である：1点

②今後の重要度

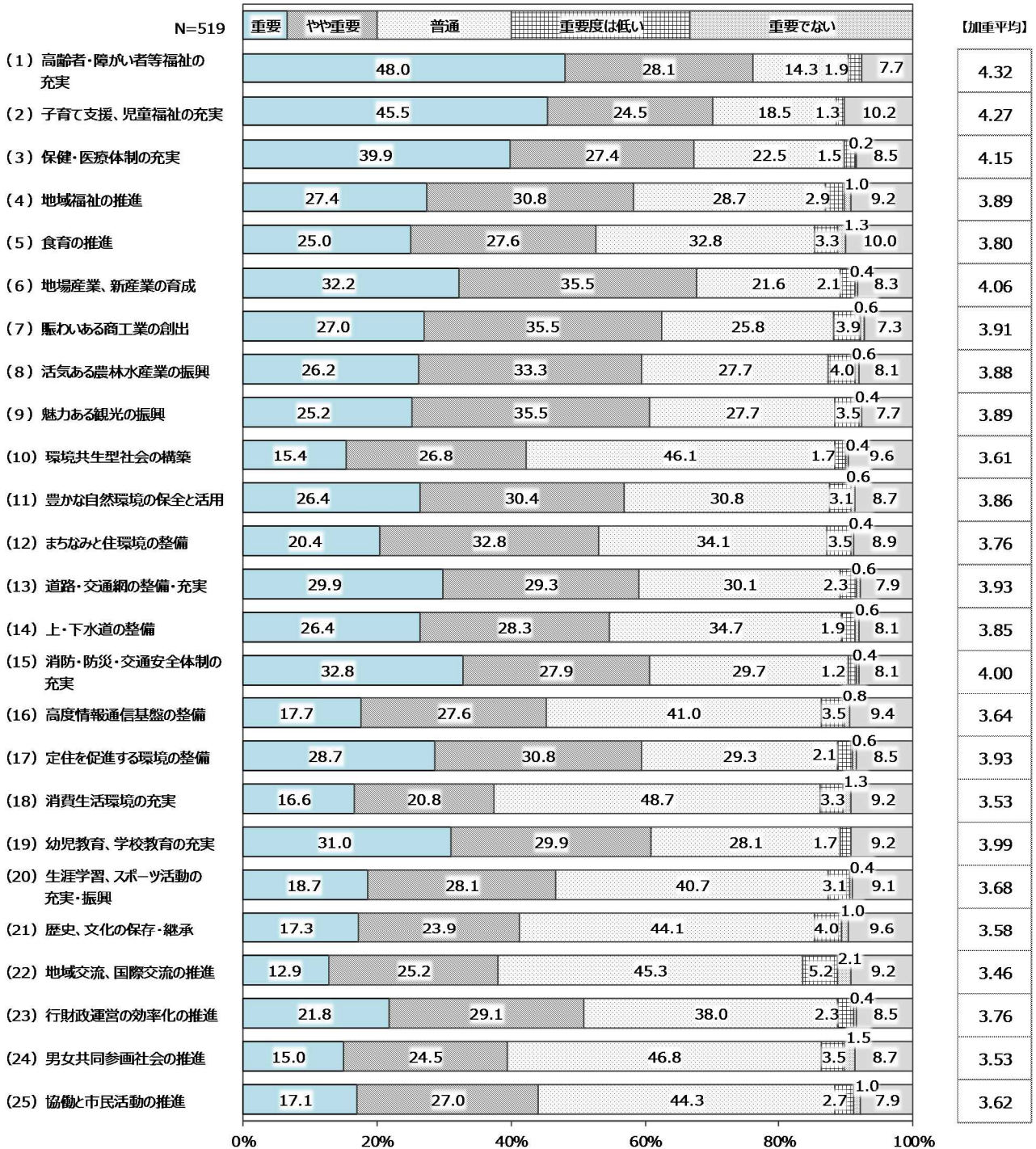
重視している：5点
 やや重視している：4点
 どちらともいえない：3点
 あまり重視していない：2点
 重視していない：1点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

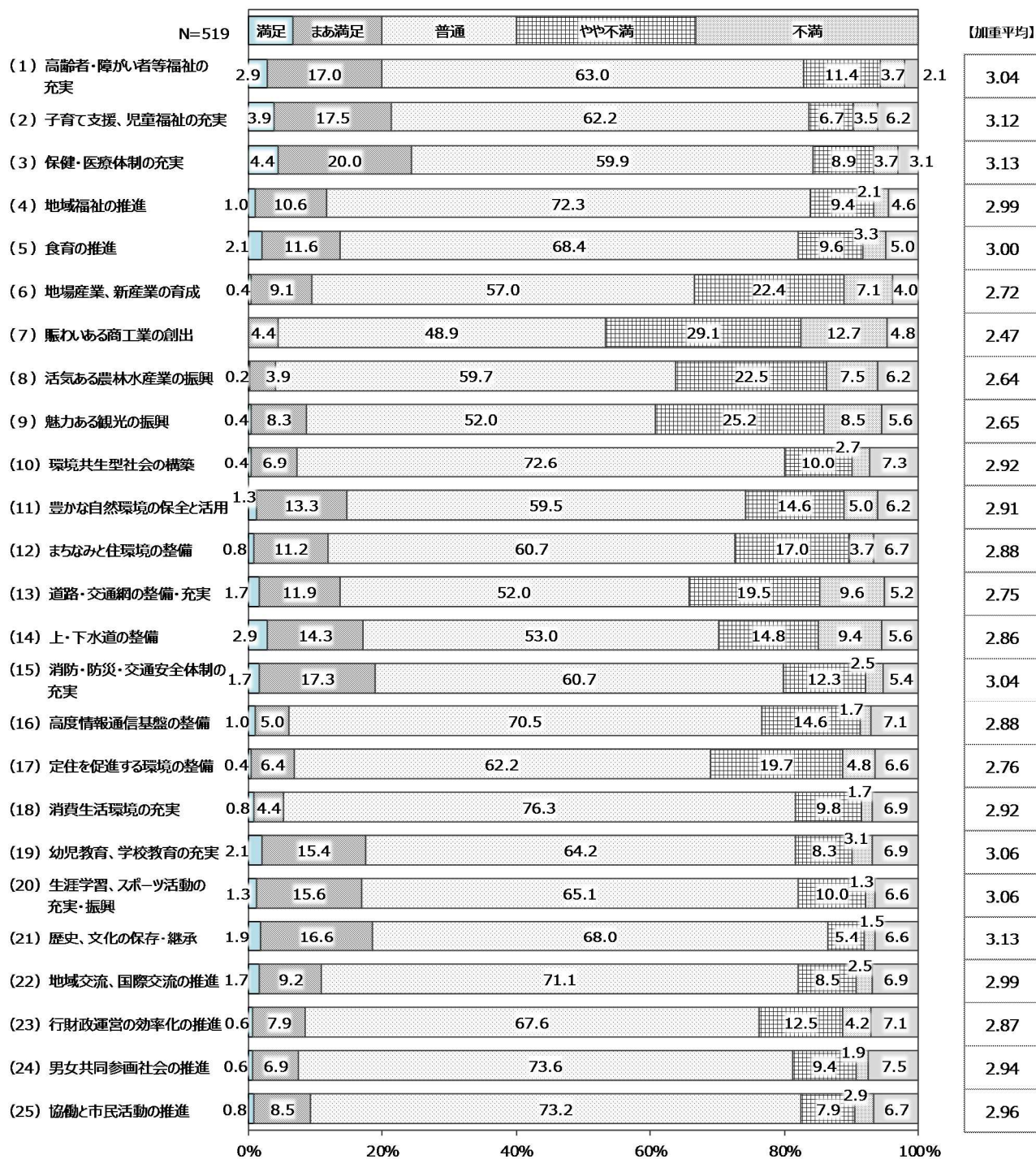
【加重平均プロット図(重要度⇔満足度)】



【重要度】



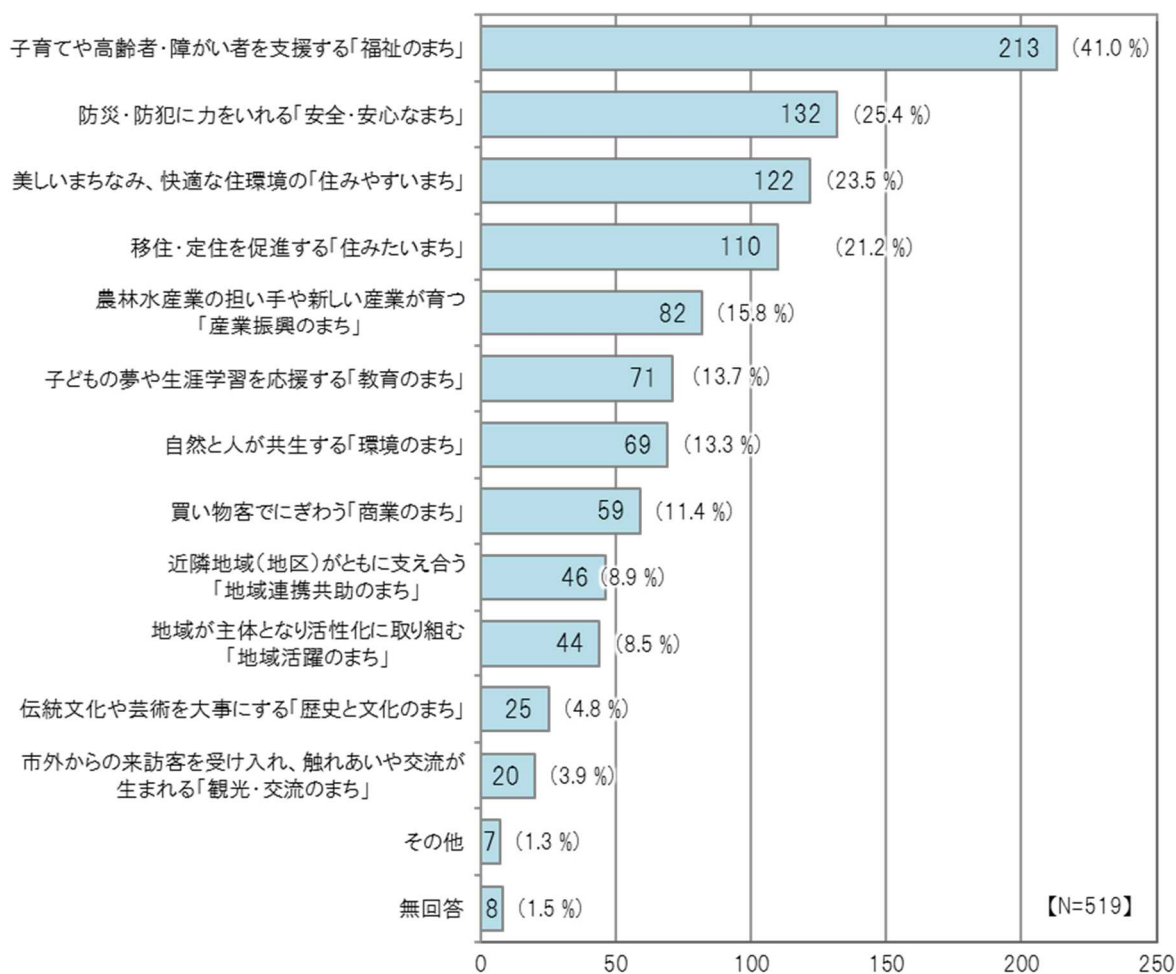
【満足度】



Ⅲ. 神埼市のまちづくりについておたずねします。

【問7】 神埼市が今後 10 年間のまちづくりで、特に力を入れるべきことはどれだと思いますか。
(2つまで○)

『子育てや高齢者・障がい者を支援する「福祉のまち」』と回答した人が 41.0%で最も多く、次いで『防災・防犯に力を入れる「安全・安心なまち」』と回答した人が 25.4%と 2 番目に多く、『美しいまちなみ、快適な住環境の「住みやすいまち」』と回答した人が 23.5%、『移住・定住を促進する「住みたいまち」』と回答した人が 21.2%、『農林水産業の担い手や新しい産業が育つ「産業振興のまち」』と回答した人が 15.8%となっている。

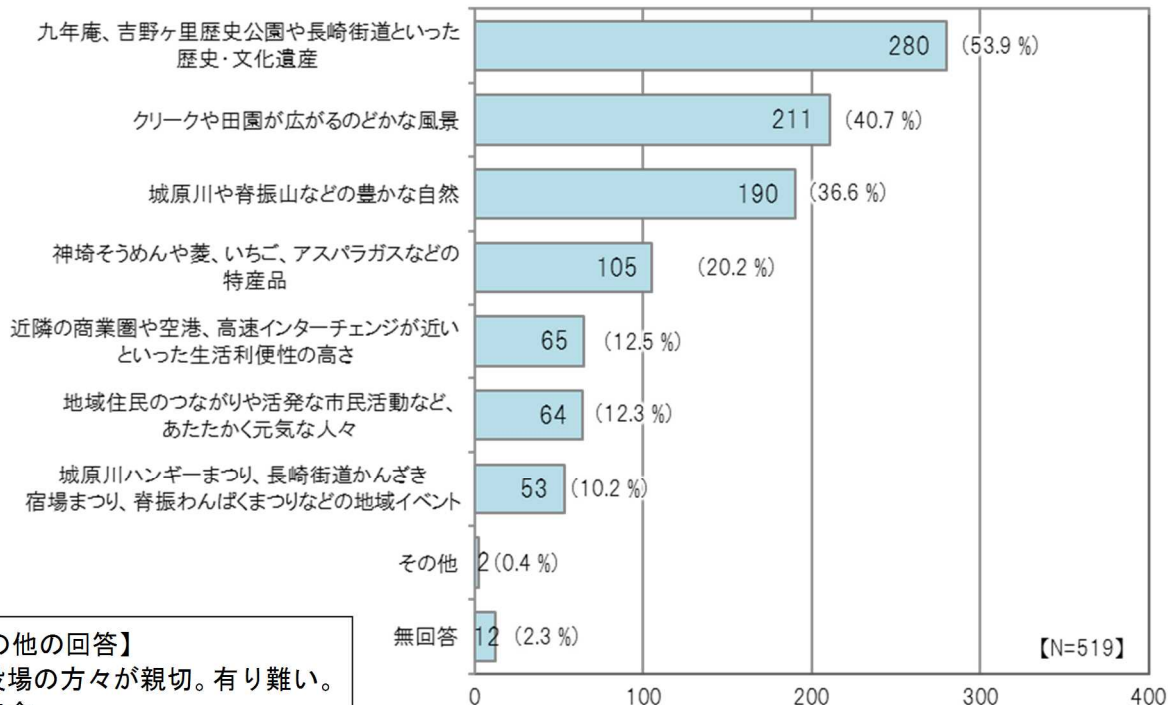


【その他の回答】

- ・ 佐賀市のように乳がん検診を各医療機関で実施してほしい
- ・ 働く場を増やす
- ・ 企業誘致して定住を促進してほしい
- ・ 市議の効率向上（定数削減含む）
- ・ 川久保線にバスを通してほしい（佐賀市方面へ）
- ・ 総合運動公園設置（体育館、野球場等）
- ・ 近くにプールがあればいい

【問8】 あなたが神崎市らしさを感じるのどのようなところですか。(2つまで○)

「九年庵、吉野ヶ里歴史公園や長崎街道といった歴史・文化遺産」と回答した人が 53.9%で最も多く、「クリークや田園が広がるのどかな風景」と回答した人が 40.7%、「城原川や脊振山などの豊かな自然」と回答した人が 36.6%、「神埼そうめんや菱、いちご、アスパラガスなどの特産品」と回答した人が 20.2%と続いており、「歴史・文化遺産」「自然」「特産品」の順に市民は神崎市らしさを感じているといえる。



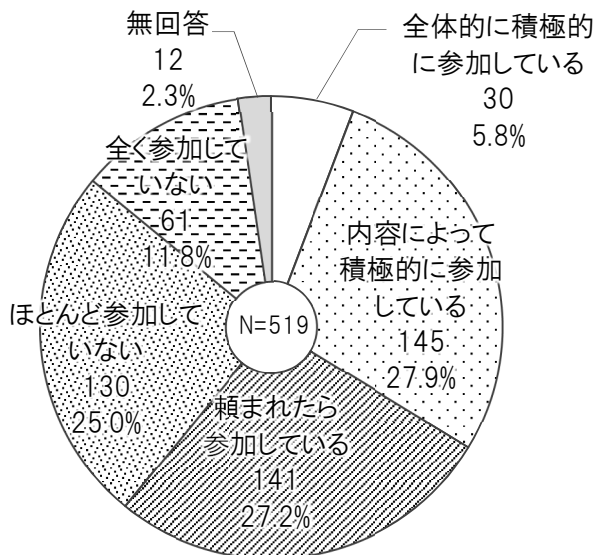
【その他の回答】

- ・ 役場の方々が親切。有り難い。
- ・ 田舎

IV. 市民協働のまちづくりについておたずねします。

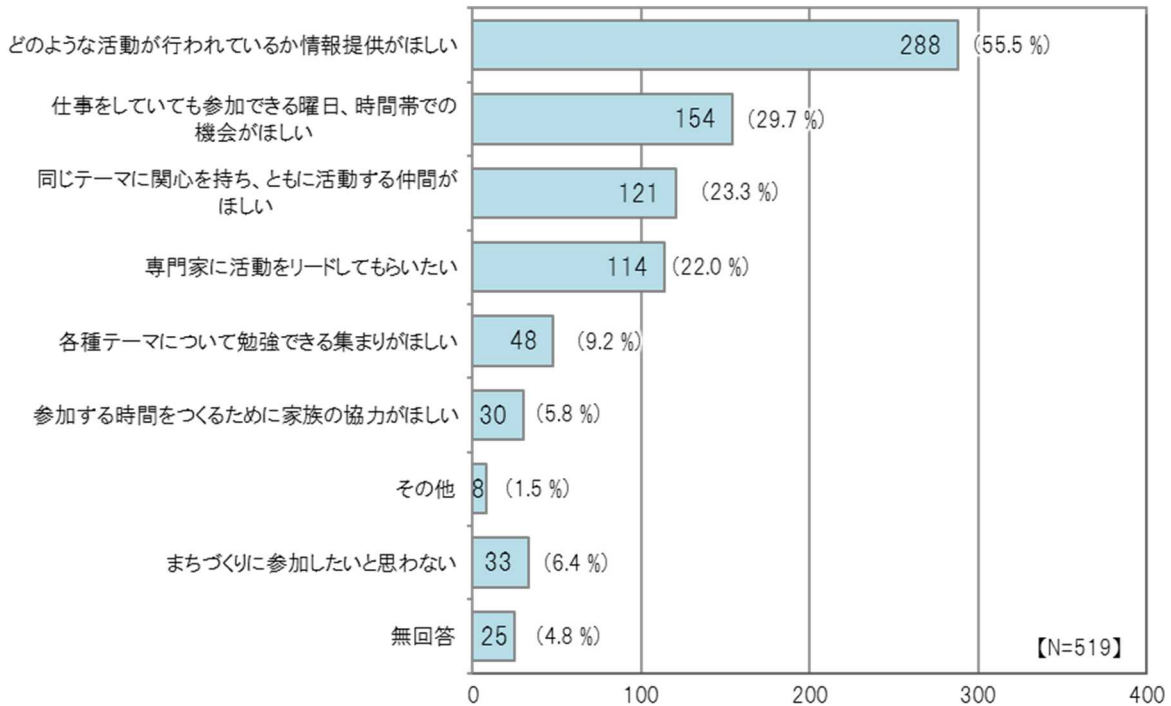
【問9】 市内や地区、グループなどで行われている市民活動は、これからのまちづくりを進める上で大きな原動力となるものです。あなたは、市民活動にどの程度参加していますか。(1つに○)

「内容によって積極的に参加している」と回答した人が 27.9%で最も多い。次いで、「頼まれたら参加している」と回答した人が 27.2%、「ほとんど参加していない」と回答した人が 25.0%となっている。



【問10】 今後あなたが市民協働を考えるうえで、まちづくりに参加するには、どういったことが必要ですか。(2つまで○)

「どのような活動が行われているか情報提供がほしい」と回答した人が 55.5%で最も多く、次いで、「仕事をしても参加できる曜日、時間帯での機会がほしい」と回答した人が 29.7%、「同じテーマに関心を持ち、ともに活動する仲間がほしい」と回答した人が 23.3%となっている。



【その他の回答】

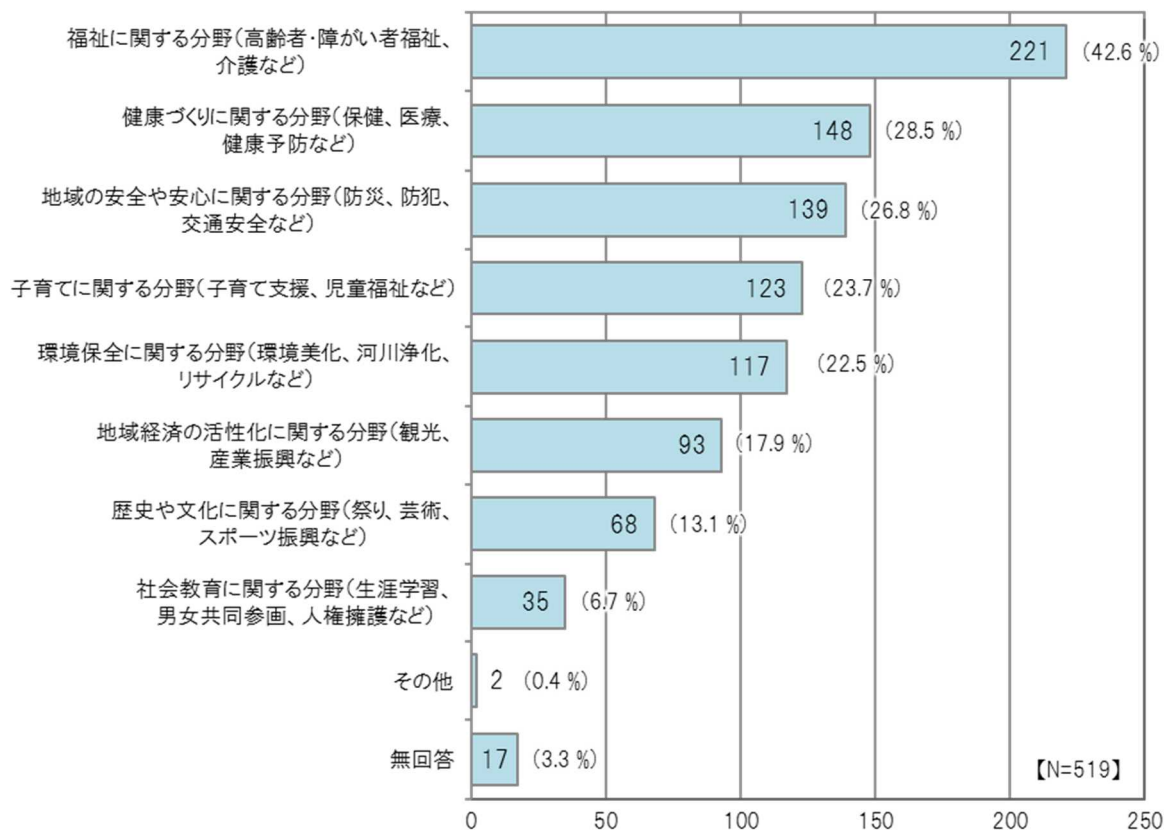
- ・ 市民協働の重要性を周知させるべき
- ・ 参加したくても幼児がいると参加が難しい。そのことに対する理解がない場合が多い。
- ・ 子どもと共に参加できる、または託児所がある
- ・ 若者でも参加しやすい場所、環境をつくってほしい
- ・ 団体の積極性がない
- ・ 昔からの住人が「移住者を受け入れない」という慣習を変える
- ・ 昔からいる人と新しく入った人が共通の考えを持てるような機会
- ・ 災害時の対策及び対応への注力

【まちづくりに参加したいと思わない理由】

- ・ 高齢のため
- ・ 参加するのは若い人にすべき
- ・ 身障者であるため
- ・ 仕事と子育てで忙しい
- ・ 単身赴任であり、介護の必要もあるので
- ・ 仕事・家事・育児に追われ、時間を作る心の余裕がない
- ・ 時間がない
- ・ 一人一人の気持ちが分からない
- ・ 人間関係が煩わしい
- ・ 行政が行うべき
- ・ やることが他の市と同じ
- ・ 興味がないから
- ・ 病弱のため
- ・ 体力がない
- ・ 家事で忙しい
- ・ 考え方が合わない
- ・ 地域の協調性がないから
- ・ 「まちづくり」が理解できない
- ・ 交通に不便だから

【問11】 今後、市民と行政が協働で取り組むことが必要、あるいは取組めば有効であると考えられるのはどの分野だと思いますか。(2つまで○)

「福祉に関する分野（高齢者・障がい者福祉、介護など）」と回答した人が 42.6%で最も多く、次いで、「健康づくりに関する分野（保健、医療、健康予防など）」と回答した人が 28.5%、「地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など）」と回答した人が 26.8%となっている。

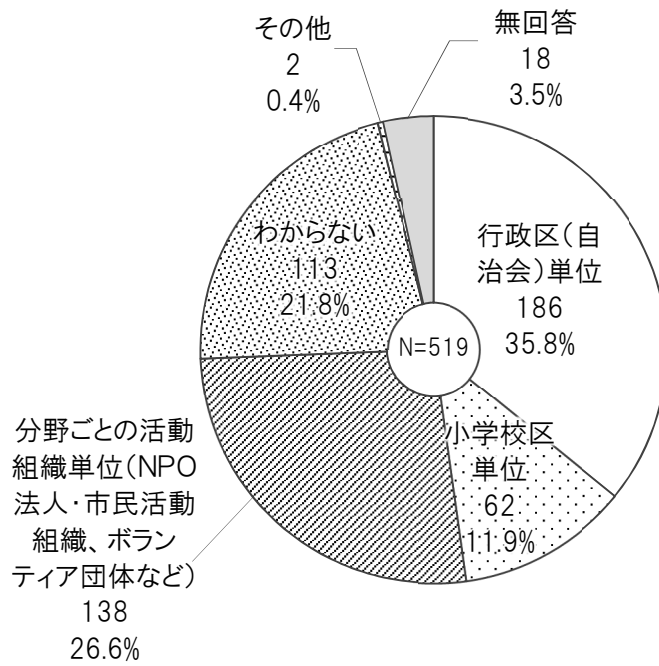


【その他の回答】

- ・ 商店の活性化
- ・ 被災地ボランティアの声掛け、送迎

【問12】 協働のまちづくりを進めていくために、どのような単位で活動することが望ましいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「行政区（自治会）単位」と回答した人が 35.8%で最も多く、次いで、「分野ごとの活動組織単位（NPO 法人・市民活動組織、ボランティア団体など）」と回答した人が 26.6%、「わからない」と回答した人が 21.8%となっている。



神埼市のまちづくりや市政についてのご意見がありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。

■神埼町神埼地区

年齢	性別	自由意見
29歳以下	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 熊本地震や九州北部豪雨が神埼市で起きても市民が安全に、生活ができるよう対策対応を…。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①ごみをまだ自宅で燃やしているところが多い。困るし迷惑。②婦人会を廃止してほしい。ランチ等ではなく、必要なことにお金を使ってほしい。断ると無視されたり、理不尽な文句を言われたり、イジメに近い仕打ちを受けます。時代遅れです。婦人会は他の町にほとんどないとのことなので、ご検討いただけませんか？③ごみ袋に名前を書かずに出す家庭がほとんどです。出し方も逆さになり、中身が出ていることもあり、どこの家庭のゴミなのか、名前がないので不明なことが多いです。④農家ばかりなので、農業に関するイベントが多くて、休みの日に朝早くから拘束され体が休まりません。草むしりやゴミ拾いなど必要なことはいいですが、それ以外の農家に関係のないことまで巻き込まれたくないので、どうにかしてほしいです。神埼において、こうした慣習の残る地区は他になく、周りの人もイヤイヤ仕方なくやっているとのことなので、意味のないものかと思えます。その後の飲み会目当てのようなので、それなら飲み会だけをやればいいことで、不必要なことに貴重な休みをつぶされる会社員の立場にもなってほしいです。新しく来た人たちは非国民のような扱いをされるため、とても住みにくく、居心地の悪い空間となっています。 ● 下水道料金が高すぎる。それが理由で移住をやめた知人もいる。実にもったいない。神埼郵便局に車止め石を設置してほしいですね。
30歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼駅北エリアの開発が神埼市のさらなる発展につながると思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼小への通学路がどこも狭く、毎日心配です。誰かが犠牲にならないと動いてもらえないのでしょうか？なるべく早く対策をとっていただきたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 保育料の減額。吉野ヶ里公園など施設使用料を市民だけの特別価格にするなど、移住してプラスになることがあれば人口も増えるのではないかと思います。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①子どもたちが安全な遊び場として吉野ヶ里公園があるので、年間パスの助成をしてほしい。神埼周辺の歴史にも興味が湧き、さらには佐賀を大切に思ってもらえると思う。また、外から転居を考えるにあたり、子どもがいる世帯はこのような助成をとっても気にする。人口を増加させてくれるであろう世帯に魅力を感じてもらえれば、市の未来も明るくなるのではないかと。②下水道の加入が少ないせいで、先に下水にした家庭は、上下水道代が高すぎる。入れば値上がりすることがわかっていれば加入する人が少ないのは当たりまえ！目標を決め、早急に推進していくべき。のんきすぎます。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ①神埼駅の活性化。大きな駐車場付き、大きな道の駅②神埼駅から吉野ヶ里公園への屋根付きの遊歩道の整備 ③市立図書館の整備④西九州大学とのコラボ、商品開発
		<ul style="list-style-type: none"> ● ①町の中での雇用が少ない②企業が少ない③商店などがあまりない④飲食店が少ない⑤日中人が集まる場所が少ないと感じる。町のなかで活性化すれば違うのかなと思うことがある
		<ul style="list-style-type: none"> ● ①特急が神埼駅に停まるように JR に要望してほしい②国民健康保険の人間ドック等の助成を充実させてほしい③様々な立場・状況の人が誰でも暮らしやすいまちになることを期待します
		<ul style="list-style-type: none"> ● 佐賀市内より移ってきましたが、佐賀市内より、静かで住みやすいです。吉野ヶ里遺跡がある歴史の町としては、バスやタクシーが少なく、もったいない気がします。佐賀市内からアクセスできるような移動手段の充実と、若い方や外国人が集まれるカフェなど、飲食店の誘致を行って、更に魅力ある街にしてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援について、神埼に土日でも遊べるような児童館(支援センター)がほしいです。母親が午前中だけでも病院や美容室、急な用事を済ませられるように一時預かりセンターみたいな施設もほしいです。また、雇用について、子育てしている母親たちが無理なく働ける環境づくりをしてほしい。時間帯や、日数など、あと、子どもの急病、行事に快く対応してもらえる環境 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある人に対する理解を求めます。差別がなくなることを願っています。 		
<ul style="list-style-type: none"> ● 道路について。鏡等あっても、見ずに突進してくる車が多いので、道路の補強などしてほしい。 		

年齢	性別	自由意見
40歳代	男性	● 議員の数を減らしてほしい。
		● 市民会議などの事業を見直してほしい。人口減のなかで、コンパクトに意見交換が行える環境を整えてほしい。
	女性	● もっと子どもが自由に遊べるところが充実すればいいですね。今の時代に合わせた公園づくりをしてほしい。幼児用のブランコひとつ町に無く、若い親子は、佐賀市の公園まで行っているそうです。さびしいですね。
		● 街灯も少なく、運動できる場所も少ないし、田舎にしては家賃も高いので、佐賀市への転移を希望しています。医療機関も少なく、というか病院はほとんど市外まで足を運んでいるので、今のところ、住みやすいとは思っていません。
不明	● 施設のスクラップアンドビルドを計画的に行い、経費削減に努めるべきだと思う。	
	● 神埼橋一神埼駅にかけての道路が非常に、交通量が多いのに道幅や歩道が狭くて危険です。朝夕は特に自転車等の学生も増えるため、道路拡張すべきと考えます。半年ほどしか住んでいないので、クリークの成り立ちや役割など、わかりませんが、これだけ多いのであれば、ヒシ以外に何かアピールできる取り組みが必要と思います。	
50歳代	男性	● 神埼に雇用が少ない。企業誘致など積極的に。市役所での対応に困った。申請書(大人用と子ども用の二種類)を取りに行くよう子どもに頼んだところ、子供用しかもらえなかった。意味がわからない。
		● 企業誘致に努力してください。みやま町の様に町営住宅を作って人口を増やしてほしいです。
		● 高齢化が進み、一方子どもたちの働く場所は限られている。若い人口が流入する魅力のある街づくりをしてほしい。
	女性	● 神埼市は交通マナーが大変悪い。総合計画も大事だが、住民の性格を修正しなければ根本的改善は望めない。
		● これから増える老人のために健康づくりのための企業の導入、高齢者の働く場所の確保、若者が集まるような商業施設
		● みんなが気軽に集まって、楽しく過ごせる町の施設があればいいと思います。
		● 核家族化が進む現代においても、田舎のよさ、何世代も一緒に暮らしている家族もあると思うので、その人間関係のよさ、優しさも大切にできるような町づくり、自営業、農業などで生計が立てられるまちづくりをしてほしいと思います。また、神埼に住居を構え、近隣で働くことができる環境づくりもありかとおもいます(ベッドタウンとしての人口増加)。
		● 近年全国では激甚災害が多発しているが、神埼市も城原川を抱えており、人ごとではない。治水対策、城原川ダム対策の政策も進んでいるとは思いますが、安全、安心な地域があつてこそ。環境あつての子育て教育、保健、医療体制、高齢者・障害者支援の充実ができると思います。強固な地盤対策こそ豊かな神埼市まちづくりだと思います。
		● 高齢者にとって住みやすい安心安全のまちづくり。独居老人が多いなか、支援の充実を期待します。
		● 子ども達、年寄りが笑顔で生きていられる町がいいですね。
● 私の家(出来町)周りのクリークは、すぐ葎が生えて中の水が全く見えません。ヘドロが溜まっているので一年に一度は重機を使って取り除いてほしいと思います。		
● 長期療養者就職支援と親が長期療養時の子どもの教育支援をお願いしたい		
● 豊かな自然や文化財などがあって、とても良い所だと思います。企業誘致など積極的に行い、税金を増やす努力が必要だと思います。農業を行う若手を育てていく必要も大いに感じます。市政やまちづくりに関して若い人達の意見やアイデアをたくさん取り入れ、市を活性化していく取り組みを是非してってください。		
60歳代	男性	● ①都会っぽい吉野ヶ里に対して、神埼は寂れて活気のない街に見えます。中心部から離れた地域にも店舗などがあると高齢者等にも優しいのでは？自転車でも行ける距離だとなおいいですね。②九年庵の駐車場のアルバイトの採用は、その地区の人だけが対象になっていますが、車の渋滞等は市民みんなの問題だと思います。市民税は皆払ってます。5:5(市民全体)にしてはどうですか？同じ人ばかりが毎年10万近くもらえるのは不公平だと思います。
	男性	● ①綺麗な河川にして、町の内でもホテルが見られるように川の整備(川底の砂地)②市による後継者の育成(農業、職人)
	男性	● ①道路の整備を早急に検討していただきたい 渋滞やそれに伴う迂回車輛が狭い道で猛スピードを出して危険極まりない ②役所の建物ばかりに税金を使うのではなく、住環境に充当してほしい ③鳥栖駅での乗り継ぎ時刻を調整してもらえたら、遠隔地への通勤・通学も可能となり、神崎市定住者も増えるのではないのでしょうか

年齢	性別	自由意見
60 歳代	男性	● できるだけ神崎に住み続け、できるだけ地域活動にも参加したいと思っていますが、車がないと病院にも行けないし、食料品等の調達もできません。年をとっても今のまま住み続けられるか不安です。
		● 行政が動かないと何もできないと思います。
		● 行政の方々も環境美化、観光促進への取り組みは表向きだけではありませんか？本心から取り組んでいますか？市役所前の国道沿いの歩道の雑草を誰もしない。
		● 災害に強いまちづくり、災害が起こったら市民に早めに連絡して、犠牲者が出ないように共助いただきたい。現在、異常気象が多いのでそう思います。
		● 山間部と平野部からなる神崎市にしかできない情報発信をして、活性化を図って下さい。きっと裕福な神崎市が実現できることでしょう。
		● 神崎市は河川の多さが魅力であるが、洪水災害に備え、河川の整備が重要である。雑草、ゴミなどを定期的に除去して、きれいな魚の住める河川を維持してほしい。無用な箱物の建設は不要！
		● 中央公民館の北側テニスコートに滑り台やブランコなど設置して下さい。日の隈公園では遠い。運動施設も作ってほしい。上峰町みたいに巡回バスを作ってほしい。
		● 町づくりの基本方針としては、環境にやさしく住みやすく、定住(若者の U ターンを含む)を促進する環境の整備などがあります。一番必要なのは働く場所があるということで、市の一つの課題として、企業誘致をお願いします。近い将来、他の市町村との合併の考えはあるのでしょうか！
		● 町づくり景観をよくしてほしい。道が通っていないところがある。
		● 定住を促進する環境に持って行ってください。
	● 不要な公共事業はやめてほしい。	
	女性	● 近年集中豪雨などがありますが、城原川やクリークのなかの草が中州のようになっていところが多々見られます。一度見守ってもらい、早急に、川底等、水の流れをスムーズにしたいと特に願います。また、何かイベントがあるときの清掃ではなく、神崎駅北側の草も刈り取ってほしいです。すばらしい景観の神崎駅です。市内の美化を期待したいです。
		● 子育て支援にもっと力を入れてほしい。公園や児童館など、子どもが集う場が少ないため、他の市町村に出かけている現状。新庁舎ができれば、近くに子どもが集う場を一緒に建ててほしい。
		● 市民のためにしっかり仕事をしてほしい。
● 私は安心安全に暮らせることが最重要と考えています。佐賀空港がオスプレイの駐屯地になれば神崎も安心安全な暮らしが脅かされるのではと不安になります。		
70 歳以上	男性	● ①神崎市内で作るそうめん、アスパラ、ひしの実等を使った料理等で町おこしをしたほうがいいと思う②不要になった建物等は特別養護施設にするか、民間に貸し付けた方がいいのでは③子どもたちが自由に遊べる場所が少ない
		● ①企業誘致、活況を呈する町づくり ②若い人の職場の確保 ③図書館建設
		● 空家の活用、整理
		● 市民が安心して、働きがいのある工場をもう少し、外部に働きかけ取り入れてほしい。毎日ご苦労様です。
		● 神崎市は商業化に努めることで人口増加を見込めると思う。
		● 田園用クリークの保全には力を入れてあるが、住宅街の排水路等も見回り、環境の悪いところは改善を望む
	女性	● 脊振、神崎、千代田町、各地域の特色を生かしたまちづくりをお願いします。庁舎や公園を作るだけがまちづくりではないと思います。維持費管理経費は大丈夫ですか。
		● ①公衆トイレの水洗化②高速神崎のバス停がいつも汚い③水車の里の活用を考えてほしい
		● サークル活動の会場利用申請は月初めの早朝申込になっているが、そのために活動を自粛している人もおられると思います。よって、中央体育館・中央公民館の利用方法を工夫していただきたいと思います。

年齢	性別	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツが盛んな青少年たちが増えた昨今、うれしいことですね！スポーツセンターがほしいですね！！
70歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 城原の川底を深くし、その土を野越しにあてる。 ● 神埼も少しは有名になりました。市長さんは男が良いです。 ● 神埼を愛する市民の一人として、このようなアンケートや、竹原の四人書きの行事など、市を盛り上げる企画に深く感銘しました。災害対策の強化なども今後の課題かと思いますが、さらなる市の発展のために行政一丸となって、ご活躍くださることを望みます。 ● 病院への通院、買い物に際してはタクシーを利用しているが、巡回バスがあれば助かる。

■神埼町西郷地区

年齢	性別	自由意見
29歳以下	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● すべてにおいてよりよい町づくりをお願いします。
30歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①企業誘致、住宅支援を行い、税金アップ②子育てしやすい環境(公園、川の整備)③外貨を取りやすい観光支援での税金アップ④高齢者支援(買い物等場、病院の充実)⑤道路の整備 ● 市内地(例えば市役所近辺)に子どもが遊べるような場がほしいです。図書館も入りやすい造りにしてほしい。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼は育児をしながら住んでいます、とても自然が多く過ごしやすい環境だと感じます。ただ、女性の働く場所が少なく、佐賀市内まで行かないといけないのは残念に思います。子どもを連れて遊びに行ける児童館もしくは公園が中心部にあれば嬉しいなと思います。神埼に住んでいる人が神埼で楽しみ、消費をすることで地域も活性化するし、一日食事をして遊んでゆっくりできる場所があれば、自然と人が集まり、交流も生まれると思います。今後に期待しています。宜しくお願いします。
40歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害も少なく非常に住みやすい町だが、城原川の治水対策を優先的にやってもらいたい。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼市のまちづくりに力を入れてあり、なによりだと思います。数年前に小学校でバッチをつけるようになりましたが、このバッチが何かを変え、誰かの意識が変わりましたか？また、町に子どもを連れて出かける場所があまりないと思われまます。また、子どもが安心して遊べる所があればと思います。自家用車がないとたいへん不便です。 ● 医療費の件はとても助かっております。
	不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校の体育館がないのはおかしい。新庁舎を新築する費用があるなら中学校の体育館が先じゃないですか？千代田中も脊振中もあります。中学校の体育館がないとか聞いたことがありません。これ以上の無駄な財政はやめてください。これまでこの町に住んでいて良かったと思うことがひとつもありません。今後もこのままだったら他の町へ引っ越し予定です。もっと市民のことを考えて下さい。
50歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致して市民税を下げてほしい。 ● 共働き家庭も増えているので、自治会の行事等の負担を軽減できると助かります。
60歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①学童保育の充実(私立保育所の保育時間までは学童保育も行う) ● ②子どもの医療費の無償化(義務教育期間) ● ③子どもと老人が集える公園の設置(市役所跡地の活用)
		<ul style="list-style-type: none"> ● ①高速道の小淵にスマートインターチェンジができたと思う ● ②長崎新幹線の開通で FGT やミニ新幹線が長崎本線を通れば、現状の踏切の遮断機が閉まる時間はどうなるのでしょうか？そういう情報も公開してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミ袋に関し、地区名・個人名を記入する様式は個人情報を守っていないという最たるものだと思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 意見を聞くより考えなさい。方法は知ってるハズ！実行してくれ！
		<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の町づくり、市政も重要であるが、現在の足元も注視してほしい。地区の行事の廃止など(運動会参加者は例年変わらず、老いていくばかりで、参加できる種目もなくなっている)。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼市の公共建造物については、もう少し地元業者の参入を希望したい。 ● 人口減少の地域で、高齢者の健康増進と元気な高齢者の積極的な社会参加ができるシステムを作る。地域で介助の必要な高齢者に元気な高齢者が介助するなど。

年齢	性別	自由意見
		● 人口が年々減少する中で、地区行事の運営や、役員の確保に事欠いているのが現状。統合が現実的とは思いますが、その際に、問題となる事項などをあげて、モデル的なプロセス・フローを作成してもらえないか。
		● 水害対策(城原川、田手川) 教育(不登校児童への教職員の意識向上)
60 歳代	女性	● 高齢者の増加が見込まれるため、安心して生活ができる環境づくり、子育て支援の充実を図り、自然環境を維持され、防犯等に努めてほしい。
		● 自然と人が共生するまちづくり。住みたい(定住したい)人が増える環境づくりをお願いいたします。
		● 川の掃除をしてほしい。我が家の前の川は草でいっぱいだ。頻度を決め、川底の掃除をしてほしい！！
70 歳以上	男性	● 集落内の災害の危険がないか調査してほしい(水害)
	女性	● ふるさと道路。桜並木にちゃんとした桜が咲いている木がほとんどありません。
		● 一番困っているのは、買い物(日常の食料品)が不便なことです。
		● 今後とも神崎市発展のためがんばってください。よりよいまちづくりができることを期待しています。
不明	● 大雨による被害(朝倉市など)が多発しているため、神埼地区も城原川の氾濫が心配です。特に、城原川は天井川になっています。決壊した時にどうするのか、決壊しないようにはどうすればいいのか、今後のことも考えてもらいたい	

■神埼町仁比山地区

年齢	性別	自由意見
30 歳代	男性	● 生活に希望の持てる町
40 歳代	男性	● 市が若返る必要があります。親がいるので住んでいますが、そうでなければ、不便で魅力もないので住みません。
	女性	● 女性や若者が安心して暮らせて仕事がしやすい環境にしてほしい
	不明	● 保育園、学童をもっと利用しやすくしてほしい。土曜日午前中だけの預かりも拒否されます。入園時に口頭または文書によるその説明は一切ありませんでした。もっと子育てに、親にも優しい保育園づくり、神崎市になってほしいです。
60 歳代	男性	● ①神崎市に道の駅の設置②県道仁比山地区の道路拡張
		● 神埼市の特色を作り、地域の PR するものは何か、道の駅の可能性も東脊振に作られ、ショッピング場所も他地区にあり、さて神埼は何を中心に人を集めるか。「住みたい町神埼」子育て支援はどうなっているか。県の行政の場も佐賀市と鳥栖市に統合され、さみしくなり、東部地区の教育の中心だった神埼も下降しているように感じる。
		● 地域の活性化、市民の定住化を図る為、観光資源の構築と PR、雇用の創出。福祉の町づくり(地域老人クラブ、学童組織の形成)。
		● ①子供懇談会の毎年の開催が大変うれしく思っております。他県から移住してみても素晴らしいと思います。今後も続けてもらいたい。②市民との懇談会も参加してみても本当に良いことと思います。
	女性	● ①豊かな自然環境を大切にしてほしい ②市会議員の数を減らしてもいいと思います。
		● 40 年前に神崎市に移住してきて、現在では、道路も広くなって歩道もでき、街灯もついて、クリーク等も整備され、地区も明るく、住みやすくなりました。今後も、子育て・教育・文化遺産・特産物の工場を願うものです。要望として、平ヶ里踏切周辺から市役所前交差点周辺の交通の緩和を切望します(市役所も新設されますので)。
		● 下水道の整備を早く進めてほしい。
		● 自然豊かではあるが、車社会のため、騒音がひどいので道の補修など定期的に考えて下さい。特産品が地元においても知られていないことがある。
		● 神埼に越してきたばかりで町・市のことをこれから学びたいので、習い事(健康ダンスなど)が開かれている場所がもっと近くにあればいいと思います。あと、ハローワークが神埼にもあったらと思ってます。佐賀まではちょっと不便でした。
		● 神崎市などの公共施設に健康器具の設置などをお願いしたい！安い単価での使用などを希望する
● 同じ地区でもなかなか会う機会が少ないため、月に一回でも会合を開いてもいいのではないのでしょうか。		

年齢	性別	自由意見	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 年寄りばかりの家庭、空家が増えているので、どうにかならないかと思う。 ● 農業が主産業の地とはいえ、トラクターで歩道を走ったり、水田を耕したドロドロのトラクターで道路を汚すなど、目に余る労働者が多い。環境の美化に気を配るのも農業者の務めかと思えます。 	
70歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①神崎市にも火葬場があったらと思う②脊振ダムが必要と思う 	
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 70代でも働きたいという気持ちがあり、健康上も問題なく特技を生かしていく場があればと思います。 ● タクシーの高齢者割引など考えていただいたら、高齢者も活動できると思います。 ● 近所には下水道がなく、私の家の前で下水がたまり、蚊が大量発生しており、役場に駆除を頼みにりましたが、個人ですと言われました。浄化槽を取り付けたはいいですが、個人では金がかかりすぎて困っています。月に二回検査が行われ、さらには年に一度県から調査があるけれど、県が何の役にも立ちません。 ● 神埼図書館をいつも利用しています。職員の方の対応には感謝しています。図書館のスペースがもう少し広くなったらと思います。今の図書館は出入口も狭くて暗く感じます。別館にして「神崎市立図書館」とはつきりわかるように希望します。 	
不明	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 神崎市内の各業界の青年部が互いに協力できるような活動の場を設けていただきたい。 	

■千代田町東部地区

年齢	性別	自由意見	
30歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 私の住んでいる場所もそうですが、車を用いないと生活必需品の購入が難しいのが気になります。車を用いてお店に行けるなら問題ありませんが、免許証を返納された方や、今後返納を予定される方、また、介護等でお店に行く時間を得難い方を対象に、移動販売などを充実させていくことで、より住みやすい、移住したくなるアピールになるのでは、と思います。 	
40歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 市長や議員って必要ですか？ 	
50歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 私の住む千代田町東部地区は子どもの数が減っている。そのために、家族も家を建てることに不安があるようだ。公営住宅または住宅を建てる土地の確保ができないかと思っています。 ● 小城市のようなメディカルモール・超大型商業施設がほしい。コストコなど誘致できれば吉野ヶ里遺跡とセットで人が集まるかも。 ● 神崎市も年々人口が減少していると思いますが、企業の誘致をもっと積極的にいただき、雇用を増やしてもらいたいです。高齢者が私の周りにも多くおられますが、身体が不自由になる前に、予防介護を充実出来たらいいと思います。 	
60歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● マスコットを変えてほしい！外部の方に、田舎くさい、恥ずかしいから早期にやめてほしい！麦わら屋根の帽子だけでも控除できないものか！？ 早期の実現を！！イメチェンも大事だ！！ ● 若者の雇用の場を確保し、また、移住、定住を促すための若者専用住宅等の整備が必要である。 	
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常気象が多発するなか、各地区の狭いクレーク、道路の側溝の浄化整備を要望します。蚊の発生を防ぎ、伝染病防止にも効果があると考えます。また、市職員の資質向上を期待します(専門的知識、マナーの習得) ● 定住の推進、空家対策、若者が住める街づくり 	
70歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 三養基地区が住宅を建てて人口増加に成功しているのを見習って、千代田地区も一考して実行し、地区人口を増やしてほしいです ● 少子高齢化が進んでいることを痛感します。その要因は、若い人達の働く場所が少なく、家族の後継者たる子ども達がいなくて、将来的には空家が増加するでしょう。神崎市にお願いすることは、これまで以上に地元で働ける環境づくりを進めるために、企業誘致などお願いしたい。とにかく、市からの人口流出を防止することが必要だと思います。 	
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 色々な町発展に力を注いでいただいて感謝いたしております。 ● 人口問題高齢者が多く若い世代が少ないので10年20年先の心配どうすればいいのかと思うばかりです 	

■千代田町中部地区

年齢	性別	自由意見
29歳以下	男性	● 神崎市がまちづくりや市政についてどのような取り組みを行っているのか把握できていません。今回のアンケートをきっかけに、神崎市のHPなどで調べてみようと思いましたので、今後も市民が市の活動を知るための機会(意識調査や情報発信等)に力を入れてほしいと思いました。
	女性	● ①静かで自然豊かなので、子育てにはよいところだと思います。子育て世代に教えられる場があればいいと思います。共働き家庭のことも考慮して、土日がいいです。そういう講座があればいいと思います。②農家が多いので、田畑で燃やしてあるのを見かけます。洗濯物を外に干せないという方も多いです(特に市外から来られた方)。
		● PRをしっかりとすべき。人口減少が危惧されるので、定住・移住の取り組みも積極的に行うべきだと思います。住宅面でも雇用面でも何かインパクトのある施策が行われるといいなと思います。
		● とても住みやすい市です。これからも、もっと住みやすい市になるよう期待します！
30歳代	男性	● ○○の町として、住民にメリットのある特化をしてほしい。
	女性	● プール付きの運動センターを作ってほしい。市が活性化するためには、住人が元気で健康であることが一番大事ではないかと思います。そのためにも、是非身体を動かせる場を作ってほしいです。
		● まだ綺麗な道路の不要な工事をするより、子ども達が安全に遊べるような公園などをまず整備してほしい
		● 千代田保育園と他の保・幼稚園のシステムの差！オムツの持ち帰りは不衛生！！お金を払うから白ご飯持参よりも、お米を炊いてほしい！働く保護者に優しくない！！先生の言葉遣いや態度が悪すぎて、実際預けたいと思わない。役場職員の態度が悪すぎるからでは？！
	● 働く場所が無く、業種・職種などの選択肢がとても少ない。女性が就くことの多い事務職の平均給与が少なすぎるため、若年層女性が自活できません。女性が元気なら地域経済も一層活気づくと思います。若い人でも休日を神崎圏内で過ごしたくなるような、おしゃれな場所が増えるといいですね。	
40歳代	男性	● 子育てにおいて、高校生までの医療費支援は、本当に助かっています。今後、安全で住みやすい市になるように多方面で努力してほしいと思うし、協力もしていきたいと思う。
		● 子育て世代にとっては医療補助などが充実していて、とても住みやすい所だと思う。工場の誘致もそれなりに進んでいて、発展している感じがある。もっとPRすると良いと思う。
50歳代	男性	● 市の職員が多過ぎるのでは。千代田役場はがらんとしている。仕事の成果が見えない。公費の無駄では。
		● 神崎高校の移転に伴い、自転車通学者の増加などのため、国道34号等の交通渋滞がますます悪化すると思われます。国道34号は県内でも混雑が著しい地区に指定されているので、改善案の検討が必要だと思います。今後大型建設物件の計画が進むなか、建築専門職員がいないので、外部へ依頼されていますが、市においても、地域に精通した職員が必要と思われる
	● 神崎町は閉鎖的である。人・物・車・情報が広く流通するように、東西南北の道路整備が必要。広く外からの人間を取り込みましょう。	
	女性	● 工業団地を作ってもらい、経済が豊かになるように産業にも力を入れてもらいたい。企業の誘致をお願いします。お年寄りから子どもまでが集えるような施設がほしい。プール、図書館、温泉、トレーニングジムなど。
60歳代	男性	● 今後、10、20年後は市内のほとんどの集落が限界集落となる。少子高齢化の進行で活性化はない。子どもがいらないということは、将来はない。高齢化対策と同時(40年程度前より)に対策を講じているべきであったと思う。もう遅い。ジリ貧になるばかり
	女性	● 行政で行われている地区の行事に、参加を義務付けたらどうか。
		● 子ども達が安全に遊べる魅力のある公園をつくってほしい。千代田町民運動会の種目を誰でも気軽に参加できる簡単で面白みのあるもので考えてほしい。
		● 地域巡回バスを、もっと利用しやすいかたちに工夫してほしい

年齢	性別	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ● 老後も神崎市で暮らしたいが、子どもたちが地元にはいないため、どうなるかわからない。若い人が地元就職でき、交通の便が良ければなあと思う。
70歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在どこの地区でも空き家が目立ちます。解体するにも莫大な金がかかるし、その後は何倍もの固定資産税がかかるとのことで、そのままにしている人も多いと聞きます。解体時の補助金を増やし、その後の税金ももう少し抑えられないものでしょうか。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 今後ますます増加する高齢者の医療費を抑えるために、健康な老人を作るべく、運動施設がほしい。インストラクターがいればなおよい。また、元気な年寄りを子育て支援や学童の見守りに役立てれば、生きがいにもなるし、一石二鳥かと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 最近の集中豪雨や自然災害のニュースを見て、果たして神崎市では防災救済の対策は充分なされているのかと不安に思います。社会の高齢化がますます進むなかで、いつまでも住み慣れた地で暮らしていけるように、病院・買い物・日々の暮らしの手助けなど、高齢者同士、近所の人々、行政の人々の目配り、気配りが大切だと思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ● ①神崎市の粗大ごみリサイクルセンターは三瀬にあり、あまりに遠くて利用したいができない。もっと近くに移動してほしい。 ● ②神崎市は農家の力が強く、田んぼを持たないサラリーマンあがり肩身が狭い。

■千代田町西部地区

年齢	性別	自由意見
29歳以下	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● クリークの美化と書いてあるが、本当にしているのでしょうか。クリークの泥が多すぎる。外来生物も多い。ミシシippアカミミガメやライギョを多く見かけ、前はウナギなどを取っている人を見かけていた。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 人口流出を防ぎ、神崎市への転入を促進するため、例えば、特色ある私立学校を誘致したり、神崎市に住むメリットを発信してはどうか。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援については他の市町村と比較して充実していないと思う。保育園数や延長保育については見直していただければ引越等考えずに済む。他市等は一回につき数百円で延長保育可能と聞いたり、地域的なサポートや健診の数も充実していると知り、住み続けるか悩みます。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもと散歩していると、よく知らない方が声を掛けてくれて、子育てするにはいい所だと感じました。社会復帰を支援してもらえると助かります。
30歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来、神崎市をリードしていく若者の雇用を創出していく場所を作ってほしいと思います。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の学童の利用時間を18時半までにしてほしい。共働きの家庭も増え、正社員では終業が17時半の職場も多いので、仕事帰りに18時半までに迎えに行くのは大変厳しく、パートでしか働けないため、生活がきつい。少子化で人口も少なくなっているため、子どもを育て、生活出来る環境に力を入れてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 神崎小付近の道はとても狭く、通勤するとき、緊張して運転しています。ガス代も高く驚きました。これから子育てもする予定なので、子育て支援の充実が希望です。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 昔から住んでいる家は地区行事があるが、新しく出来た住宅団地は関係ない。婦人会という名の集まりがあったり、人間関係が面倒くさい。せからしい。千代田町西部地区なので、神崎市内へ買い物に行くことがありません。駅までも佐賀駅の方が近いし、神崎駅は利用したことがありません。 ● 田舎なので男尊女卑の考えが未だに残っていて、不愉快。私は小学校教諭で、仕事をしながら子育てをしているが、理不尽さを感じる事が多くある。30-40代の人たちは同じように感じている人も多いのではないのでしょうか。女性も働くことは、当たり前の時代。50代以上の方の女性だけが子育てをするという考え方を教育していく必要があると思う。こんなところに住みたくなけれど、子どもがいるから身動きが取れないだけ。とても大変です。
40歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、佐賀県や神崎市の人口は増加しないし、雇用の創出等も不可能だと思います。今できることは、今いる子ども達に自分のふるさとの良さ、家族の大切さを教育することだと思います。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 住みやすい街になるよう、いろいろと考えてくださってありがとうございます ● 千代田に住む私の周りでは、女性はほとんど他の市町村に働きにいています。近くに働ける場所があれば、もっと子育てと仕事の両立もしやすいので、働く場がもっとあればよいです。ファミリーサポート(子育て支援)ももっと充実させてほしいし、障がい児教育にもっと力を入れてほしいです。

年齢	性別	自由意見
50 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業がない雇用がないので他に仕事を求めて人々が出て行くため、昼は人がいない。仕事があるなら昼間でも人がいて、商業も賑わう。 ● 野焼きをやめてほしい。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 一口に神崎市といっても、脊振、神埼、千代田で違うと思います。地域の特性を生かし、地域でできることから取り組んでいったらと思います。 ● 高齢者の足がない。病院、スーパーに行くのも不便
		<ul style="list-style-type: none"> ● 店の閉まる時間が早い。道路がガタガタでラインも消えかかっている。蚊が多くて散歩も出来ないのを駆除してほしい。車がないと不便極まりない。標識が少ない。急行バスがないので他県への大学へ通えなかった。結果若者の流出になっているのでは。
60 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 空家を減らすこと 食料品の巡回移動車 健康寿命を延ばすためには？
		<ul style="list-style-type: none"> ● 千代田西部在住であり、買い物では佐賀市内を利用することが多い。今後車の運転ができなくなると、買い物や病院通いもどうすればよいかと不安になる。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 老人同士がふれあえる、憩いの場(弁当を持ち寄れるなど)、趣味の場、ボランティアの場、日帰り旅行の場がほしい。独りぼっちが当たり前とならぬよう、各自で前向きな行動をとり、役に立つことがあれば、役に立ちたいですね。
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 若年層が地域における公共の場へ積極的に参加せず、市の指針に無関心な現状では、何を計画しても無意味に終わると思います。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 議員がいない地区も分け隔てないでください。

■脊振町

年齢	性別	自由意見
29 歳以下	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の不便で買い物も 20 分以上かかる。雪の日は山に閉じ込められた感じで通勤に困るので、移住したくなる。災害や雪対策に力を入れてほしい。
30 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の高齢化と過疎化が進み、残る住民が苦しまないよう、市外からの定住の推進をしてほしいです。そのために、産業の振興、環境の整備等が急務と思います。市長以下職員の方々に期待しています。ぜひ、頑張ってください。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てサークルがもっと近くにあれば参加したいです。室内での遊び場の充実をお願いします。
40 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 通勤・買い物ともに不便なところに住んでいますが、無い物ねだりばかりしてもと自分に言い聞かせる日々です。
	不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口増加が課題だと思う。策がなければ、吉野ヶ里町との合併を進めた方が良いと思う。
50 歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①高齢者や買い物ができないひとたちの足が不足しているので、もっと利用しやすい、交通機関の充実を考えてほしい ● ②避難放送は高齢者には聞き取りにくく、各家庭に放送設備を設置してほしい
		<ul style="list-style-type: none"> ● 神崎市・千代田町・脊振町が連携して、できる産業を多くして、市民が市内で働き、生活出来るようにしてほしい
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者の定住、他市町からの転入等で人口増加。道路の整備、特に中山間地の市道。
	不明	<ul style="list-style-type: none"> ● ①脊振町らしさは感じるが、他の地区はわからない ● ②地区伝統を守るのはいいが、区長らの縛りがきつすぎて、自由な活動が行えない。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 脊振町は人口減少で買い物をする店もなく、将来車に乗れなくなったり、夫婦のどちらかが病気になったらすると、どうすればよいかわからず不安でいっぱいです。何をすることも車がないとできず、近くにタクシーもなく、バスは一日何本しかこないで、いつも不安を抱えています。
70 歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 神崎市役所の適切な人事による優秀な企画課のまちづくりを期待します。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 山間部に住んでいるため、いろんな面で、不自由している。なんとか過疎化対策をしてもらいたい。
	不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の歴史、文化をもっと子ども達にも教育すべき。
不明	不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口を増やす(→産業の強化・移入)→子育て世代の移住促進→教育の強化、特色のある教育等、移住のメリットを増やす

■不明

年齢	性別	自由意見
不明	不明	● 教育のことは教職者・PTA に任せ、外野は口をつぐむべきだ。
不明	不明	● 年齢を重ねて車を運転出来なくなると、どこで行動するにも不便

3. アンケート調査票



市民まちづくりアンケート ご協力をお願い



市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、神崎市では平成 20 年 3 月に「神崎市総合計画」を策定し、まちづくりに取り組んでまいりました。

このたび、来年度からの 10 年間の方向性を示す第 2 次神崎市総合計画の策定に取り組んでおり、今回のアンケート調査は、今後のまちづくりを検討するうえでの貴重な資料とさせていただくことを目的に実施するものです。

市民の皆様一人ひとりが神崎市の主役であり、皆様のご意見がこれからの神崎市のまちづくりを進めていく力となります。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の目的をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。

なお、アンケートの集計結果は市報かんざき及び神崎市ホームページで公表します。

平成 29 年 8 月

神崎市長 松本 茂幸

【アンケート回答に際してのお願い】

1. 宛名のご本人がお答えください（回答目安時間は 10 分です）。
2. お答えは、設問ごとに（1つに〇）、（2つまで〇）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお気を付けてください。
〇印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
3. ご記入いただいた調査票は **8 月 14 日（月）** までに同封の返信用封筒に入れて返送・または本庁企画課、各支所総合窓口課へご提出ください。（切手は不要です。）
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル又は万年筆でお願いします。
5. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

神崎市役所 企画課（担当：鶴・篠木）

電話 0952-37-0102（直通）

※本調査は、18 歳以上の市内居住者の中から、無作為に抽出した方に無記名で記入をお願いするものです。調査の結果は統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

I. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなた自身のことについてお答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

(1) 年齢	1. 29歳以下	2. 30歳代	3. 40歳代
	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上
(2) 性別	1. 男性		2. 女性
(3) お住まいの地域	1. 神埼町 神埼地区		2. 神埼町 西郷地区
	3. 神埼町 仁比山地区		4. 千代田町 東部地区
	5. 千代田町 中部地区		6. 千代田町 西部地区
	7. 脊振町		8. わからない場合は町名と地区名を記入 (町)
(4) 神崎市でのお住まい状況	1. 生まれた時からずっと住んでいる		
	2. 神崎市(旧町村)で生まれ、一度転出したが戻ってきた		
	3. 神崎市(旧町村)外で生まれ、他の市町村から転入してきた		
(5) 神崎市での居住年数	1. 3年未満		2. 3年以上5年未満
	3. 5年以上10年未満		4. 10年以上20年未満
	5. 20年以上30年未満		6. 30年以上

問2 あなたは、神崎市が住みやすいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 あなたは、神崎市にどの程度愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 非常に愛着を感じている | 2. 愛着を感じている |
| 3. あまり愛着を感じていない | 4. 全く愛着を感じていない |



問4 これからも、神崎市に住みたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。(1つに○) 回答番号に応じて、矢印の質問にお答えください。

1. ずっと住んでいたい	3. できれば移りたい
2. なるべく住んでいたい	4. 早く移りたい



1、2と回答した方



3、4と回答した方

その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。				その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。			
1. 市内に働く場所があるから 2. 通勤、通学に便利だから 3. 子育て、教育の環境が整っているから 4. 保健、医療体制が充実しているから 5. 高齢者や障がい者への支援が充実しているから 6. 食料や日用品の買い物に便利だから 7. 公共施設や公共サービス・生活環境の整備が充実しているから 8. 文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っているから 9. 神崎市に愛着があるから 10. 近くに親族（親や子など）がいるから 11. 地域の人たちとの人間関係を大切にしたいから 12. 自然環境がよいから 13. まちのイメージがよいから 14. 治安がよいから 15. 住宅事情がよいから 16. その他（ ）				1. 市内に働く場所がないから 2. 通勤、通学に不便だから 3. 子育て、教育の環境が整っていないから 4. 保健、医療体制が充実していないから 5. 高齢者や障がい者への支援が充実していないから 6. 食料や日用品の買い物に不便だから 7. 公共施設や公共サービス・生活環境の整備が不十分だから 8. 文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っていないから 9. 神崎市に愛着がないから 10. 別の地域にいる親族（親や子など）と一緒に暮らしたいから 11. 地域の人たちとの人間関係がわずらわしいから 12. 自然環境がわるいから 13. まちのイメージがわるいから 14. 治安がわるいから 15. 住宅事情がわるいから 16. その他（ ）			
回答欄	1	2	3	回答欄	1	2	3



Ⅱ. 総合計画についておたずねします。

問5 過去 10 年間、神崎市総合計画では、まちづくりの基本理念として、市民のさまざまな生活シーンをもとに以下の3つを設定してきました。

【まちづくりの基本理念】

- (1) 住まう ～悠久の土地で、市民が健やかに安心して暮らし続ける～
- (2) 働く ～多様な産業基盤を築き、豊かな夢資源を活かす～
- (3) 行き交う ～次代を担う人材と地域文化を育て、市民がまちづくりの主演となる～

この 10 年間で、上記の実現に向けた取組みが進んでいると感じますか。

((1)～(3)の項目ごとに1つに○)

まちづくりの基本理念	かなり進んだと感じる	やや進んだと感じる	どちらともいえない・わからない	あまり進んだと感じない	まったく進んだと感じない
(1) 住まう	1	2	3	4	5
(2) 働く	1	2	3	4	5
(3) 行き交う	1	2	3	4	5

問6 あなたが神崎市で暮らすなかで、以下の施策について現在の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

((1)～(25)の満足度と重要度それぞれ1つに○)

<div style="text-align: right; padding-right: 10px;">評価</div> 項目（施策）	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	重要度は低い	重要でない
●健やかに安心して暮らせるまちづくり										
(1) 高齢者・障がい者等福祉の充実 (福祉サービスの質向上、社会参加支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 子育て支援、児童福祉の充実 (保育サービス拡充、母子保健対策推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 保健・医療体制の充実 (健康教室・相談の充実、関係機関連携)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 地域福祉の推進 (地域福祉活動支援、生活困窮世帯支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 食育の推進 (食文化継承の取組み、地産地消の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目（施策）	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	重要度は低い	重要でない
●力強く活気あるまちづくり										
(6) 地場産業、新産業の育成 (地場商品のブランド育成、企業・産業誘致)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 賑わいある商工業の創出 (中心市街地活性化、新事業支援制度)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 活気ある農林水産業の振興 (担い手の育成、生産規模拡大・効率化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 魅力ある観光の振興 (観光情報PR、周遊ルートの仕掛けづくり)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●環境にやさしく住みやすいまちづくり										
(10) 環境共生型社会の構築 (環境学習機会の充実、事業者の取組み支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 豊かな自然環境の保全と活用 (クリークのみ美化、森林の多面的活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) まちなみと住環境の整備 (公営住宅整備、景観資源の保全・活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 道路・交通網の整備・充実 (主要幹線道路整備、地域公共交通確保)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 上・下水道の整備 (地域性に応じた処理方式整備、節水意識普及)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 消防・防災・交通安全体制の充実 (災害に強いまちづくり、治山治水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 高度情報通信基盤の整備 (技術導入による市民生活と行政運営の改善)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 定住を促進する環境の整備 (住宅整備、情報発信、雇用の創出)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 消費生活環境の充実 (消費者トラブル救済、消費者教育推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●創造性豊かで輝く人の育つまちづくり										
(19) 幼児教育、学校教育の充実 (教育内容の充実、相談事業の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 生涯学習、スポーツ活動の充実・振興 (講座・教室の充実、スポーツ活動機会の提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 歴史、文化の保存・継承 (文化財保存、市民学芸員との協働など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 地域交流、国際交流の推進 (地域行事への参加促進、異文化交流)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●みんなで協働して進めるまちづくり										
(23) 行財政運営の効率化の推進 (市民ニーズへの対応、適正な職員人事)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 男女共同参画社会の推進 (各種審議会での女性委員登用、学校教育推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 協働と市民活動の推進 (市民活動の支援、積極的な情報公開)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Ⅲ. 神埼市のまちづくりについておたずねします。

問7 神埼市が今後 10 年間のまちづくりで、特に力を入れるべきことはどれだと思えますか。(2つまで○)

1. 自然と人が共生する「環境のまち」
2. 子どもの夢や生涯学習を応援する「教育のまち」
3. 子育てや高齢者・障がい者を支援する「福祉のまち」
4. 農林水産業の担い手や新しい産業が育つ「産業振興のまち」
5. 美しいまちなみ、快適な住環境の「住みやすいまち」
6. 市外からの来訪者を受け入れ、触れあいや交流が生まれる「観光・交流のまち」
7. 買い物客でにぎわう「商業のまち」
8. 伝統文化や芸術を大事にする「歴史と文化のまち」
9. 防災・防犯に力をいれる「安全・安心なまち」
10. 地域が主体となり活性化に取り組む「地域活躍のまち」
11. 近隣地域(地区)がともに支え合う「地域連携共助のまち」
12. 移住・定住を促進する「住みたいまち」
13. その他()

問8 あなたが神埼市らしさを感じるのはどのようなところですか。(2つまで○)

1. 九年庵、吉野ヶ里歴史公園や長崎街道といった歴史・文化遺産
2. 城原川や脊振山などの豊かな自然
3. クリークや田園が広がるのどかな風景
4. 神埼そうめんや菱、いちご、アスパラガスなどの特産品
5. 城原川ハンギーマつり、長崎街道かんざき宿場まつり、脊振わんぱくまつりなどの地域イベント
6. 地域住民のつながりや活発な市民活動など、あたたかく元気な人々
7. 近隣の商業圏や空港、高速インターチェンジが近いといった生活利便性の高さ
8. その他()

IV. 市民協働のまちづくりについておたずねします。

【協働のまちづくりとは？】

地域課題の解決など共通の目的を達成するために、市民相互、市民と行政または企業が、お互いのできることを活かしつつ、対等な立場で連携・協力し、活動するまちづくりのことです。

問 9 市内や地区、グループなどで行われている市民活動は、これからのまちづくりを進める上で大きな原動力となるものです。あなたは、市民活動にどの程度参加していますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 全体的に積極的に参加している | 2. 内容によって積極的に参加している |
| 3. 頼まれたら参加している | 4. ほとんど参加していない |
| 5. 全く参加していない | |

問 10 今後あなたが市民協働を考えるうえで、まちづくりに参加するには、どういったことが必要ですか。（2つまで○）

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 同じテーマに関心を持ち、ともに活動する仲間がほしい | |
| 2. 仕事をしていても参加できる曜日、時間帯での機会がほしい | |
| 3. 参加する時間をつくるために家族の協力がほしい | |
| 4. どのような活動が行われているか情報提供がほしい | |
| 5. 各種テーマについて勉強できる集まりがほしい | |
| 6. 専門家に活動をリードしてもらいたい | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. まちづくりに参加したいと思わない（理由： | ） |

問 11 今後、市民と行政が協働で取組むことが必要、あるいは取組めば有効であると考えられるのはどの分野だと思いますか。（2つまで○）

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 福祉に関する分野（高齢者・障がい者福祉、介護など） | |
| 2. 健康づくりに関する分野（保健、医療、健康予防など） | |
| 3. 社会教育に関する分野（生涯学習、男女共同参画、人権擁護など） | |
| 4. 子育てに関する分野（子育て支援、児童福祉など） | |
| 5. 歴史や文化に関する分野（祭り、芸術、スポーツ振興など） | |
| 6. 環境保全に関する分野（環境美化、河川浄化、リサイクルなど） | |
| 7. 地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など） | |
| 8. 地域経済の活性化に関する分野（観光、産業振興など） | |
| 9. その他（ | ） |

問12 協働のまちづくりを進めていくために、どのような単位で活動することが望ましいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 行政区(自治会)単位
2. 小学校区単位
3. 分野ごとの活動組織単位(NPO法人、市民活動組織、ボランティア団体など)
4. わからない
5. その他()

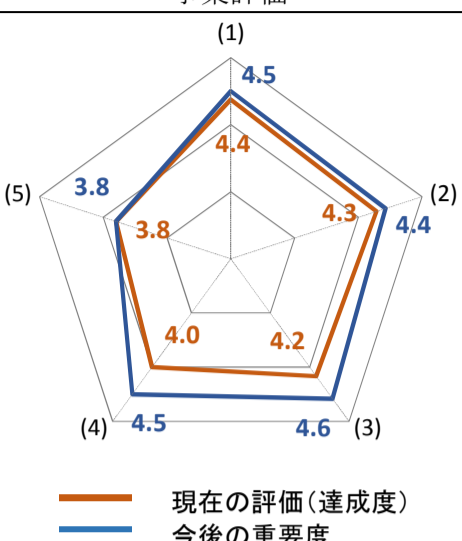
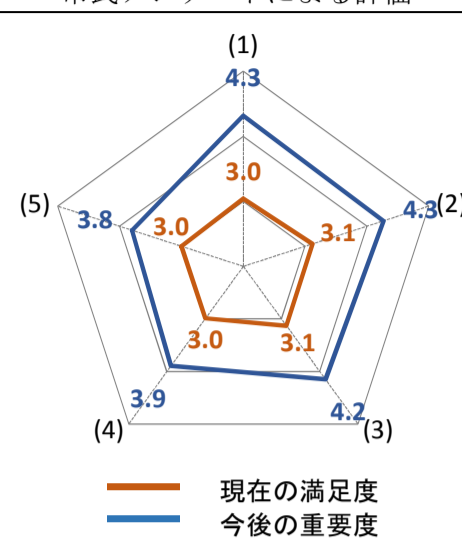
最後に、神埼市のまちづくりや市政についてのご意見がありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。(市の特色、期待すること、女性の社会進出や雇用関係、子育て支援、人口問題、地域(地区)同士の共助など自由にご記入ください。)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストにご投函・
または本庁企画課、各支所総合窓口課へご提出ください。



方針 1.健やかに安心して暮らせるまちづくり【保健・福祉・医療】

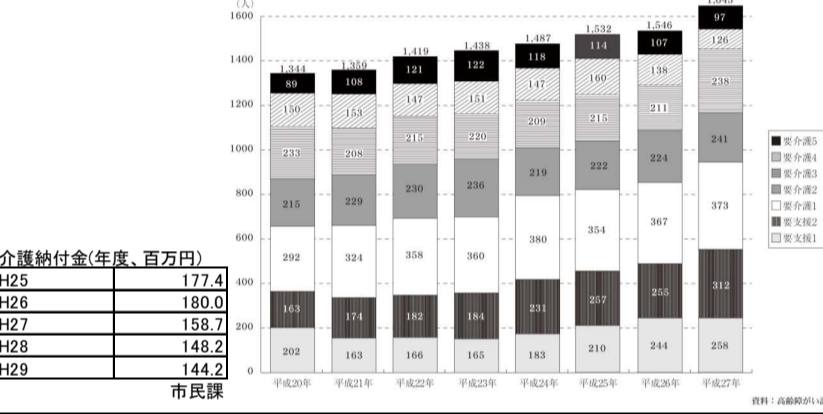
施策内容	事業評価	市民アンケートによる評価	コメント
(1) 高齢者・障がい者等福祉の充実 (2) 子育て支援・児童福祉の充実 (3) 保健・医療体制の充実 (4) 地域福祉の推進 (5) 食育の推進			<p>【現在の満足度・達成度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民評価では、いずれの施策の満足度も中程度であるが、他の分野の施策と比べると評価が高い。 事業評価では、いずれの施策も予定していた事業が概ね達成できていると評価されている。 <p>【今後の重要度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高齢者・障がい者等福祉の充実」「子育て支援・児童福祉の充実」「保健・医療体制の充実」については、市内、市民ともに重要度が高く評価されている。 「地域福祉の推進」に関しては、事業評価では上記施策と同様に重要度が高いが、市民評価では上記施策に比べ低く評価されている。

施策	現状、課題
(1) 高齢者・障がい者等福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> 本市は 31.5%と高齢化が進み、高齢者の単身世帯や介護認定者も増加傾向にある中で、高齢者が抱える問題も年々多様化しており、高齢者のニーズに応じた福祉サービスの提供ができるよう検討が必要である。 高齢化の進行により、介護福祉の需要は拡大が見込まれ、一方で人口の減少傾向から介護納付金は縮小傾向にあることから、適切に対応していくことが必要である。 高齢者の暮らしを支える相談体制や支援制度等の構築に加え、年間 100 回以上開催しているふれあいサロンをはじめとした高齢者が集う場や介護予防の機会、シルバー人材センターをはじめとした就労機会の創出等により、高齢者が生きがいを持って、安心して暮らし続けられるまちづくりを行う必要がある。 地域包括支援センターによる事業や、平成 29 年度に開始した佐賀中部広域連合と連携を図り進めている介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)などを推進し、横断的な連携の中で、高齢者の日常生活の自立を支援する必要がある。 人口の約 6%が何らかの障がいを抱えており、障がい者の就労支援、社会参加の促進を継続して進めるとともに、各種イベントと研修会を組み合わせ等による市民への啓発を通じて、障がい者差別解消を推進する必要がある。
(2) 子育て支援・児童福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> 人口の増加を図る上で、子育てしやすい環境は定住の条件の一つとなっており、引き続き神埼らしい子育て支援策を講じていく必要がある。 子育て環境は、共働き世帯の増加を背景にニーズの量、質ともに変化拡大しているため、多様な家族形態に対応した各種保育サービスの充実、子育て支援センターを中心とした相談体制・育児支援の充実、自主的な育児サークル活動の推進等を図ることにより、子育て支援体制を強化する必要がある。 高校生等まで拡充した医療費の助成をはじめ、子育てにかかる経済的負担の軽減を図る必要がある。 保育士の確保が年々厳しくなっており、保育士の働きやすい職場環境整備や待遇改善に取り組む必要がある。
(3) 保健・医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人当たりの医療費は年々増加している状況にあり、特定健診等の受診を推奨するなど、生活習慣改善や発症予防並びに重症化予防への取り組みを推進し、医療費の適正化を図ることが必要である。 高齢化に伴い、75 歳以上の後期高齢者医療保険の被保険者が急増する中で、十分なサービスの確保のための工夫、努力に加え、市民一人ひとりが健康でいられるように、その保持、増進の取り組みを支援する必要がある。 子ども一人ひとりの健やかな成長の支援のため、母子保健の充実を図る必要がある。 医療機器の更新、新規導入を進め、医療体制の充実を図る必要がある。 本市は、人口当たり医療施設が県平均に比べて少ない状況にあり、医療施設の新規立地や既存医療施設における医療機器の更新、新規導入等を促進し、医療機能の充実を図る必要がある。 脊振地域については、複合施設建設にあわせて診療所機能の維持を図る必要がある。
(4) 地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> 近年、パートナー間における DV 被害や離婚相談への対応や自殺対策、貧困対策など、地域福祉の役割が多様化しており、関係機関と連携した対応、相談体制の充実に加え、身近な相談者となれる人材の確保、育成等を図るなど、相談内容に応じた適切な対応を図る必要がある。 市民の立場に立った援助や介護サービス等のつなぎ役となる民生委員の確保、イメージアップが必要である(現在、3 支部、計 76 人)。 誰もが暮らしやすいまちづくりを進めるため、公共施設のユニバーサルデザイン化を推進する必要がある。 高齢化の進行等により、生活保護対象者が増加傾向にあるが、対人口の保護率は県の平均保護率に比べ相対的に少ない状況であり、今後も生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化と包括的な支援につなげる必要がある。
(5) 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> きりりかんざき食育プラン(第二次食育推進基本計画)に基づき、食を通じた市民の健康づくりや食文化等を活かした地域活性化を促進することが必要である。 神埼市の食育、食文化の継承に向け、今後も西九州大学や生活改善推進協議会との連携体制を強化する必要がある。 ひしの里について、特産品事業との連携、ふれあい農園の募集、PR の強化、閉店した農産直売所「ひしの里ちよだ」の利活用など、様々な視点での対応検討を行う必要がある。

ひとり暮らし高齢者数の推移(各年 4 月 1 日現在) (単位:人)

	神埼町		千代田町		脊振町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
平成 22 年度	105	341	70	213	18	43	193	597
平成 23 年度	100	351	58	203	19	48	177	602
平成 24 年度	106	352	55	190	17	39	178	581
平成 25 年度	116	355	50	186	15	44	181	585
平成 26 年度	141	376	56	191	15	32	212	599
平成 27 年度	150	381	59	204	18	44	227	629

※上記表は、特別養護老人ホーム等の施設入所者を含んでいない。資料:高齢障がい課



医療費助成対象者(H29,人)

0歳～就学前	1,798
小学生	1,849
中学生	931
高校生等	968
計	5,546

市民課

保育所状況(H27)

	定員	0～5歳人口	人口当たり定員
佐賀県	20 017	43,523	0.46
神埼市	895	1,557	0.57

資料:県子ども未来課、市政概要

H26医療施設数

	病院	一般診療所	歯科診療所	率(人口10万対)			
				病院	一般診療所	歯科診療所	薬局
県計	108	684	426	12.9	81.9	51.0	533
神埼市	3	22	14	9.4	68.7	43.7	19

資料:厚生労働省「医療施設調査」、業務課「業務行政概要」

H26生活保護の状況

	被保護世帯数	被保護人員	保護率
			(人口千人につき)
	月平均	年度平均	
県計	6 302	8 049	9.6
神埼市	123	157	4.9

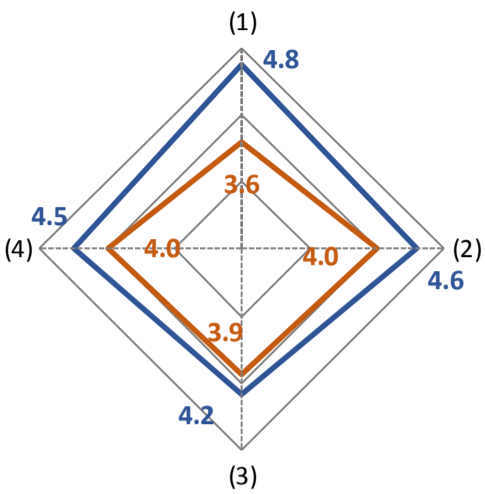
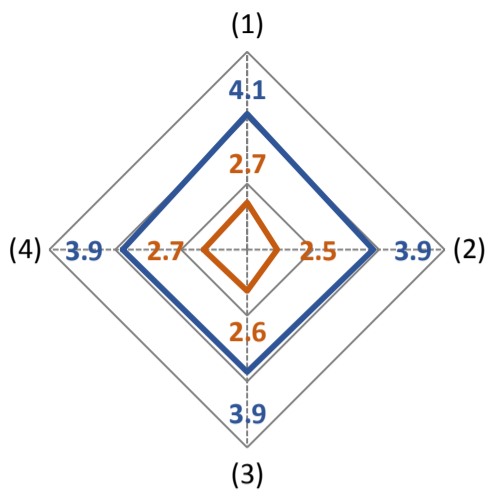
資料:県福祉課

生活困窮者自立支援事業(平成28年度)

①自立相談支援事業	相談者	87名
	相談対応延べ件数	1,420件
②住居確保給付金	申請者	1名
	支給決定者	1名
③家計相談支援事業	相談者	32名
	相談延べ件数	122件
④子どもの学習支援事業	事業利用者	28名

福祉課

方針 2.力強く活力のあるまちづくり【産業振興・観光振興】

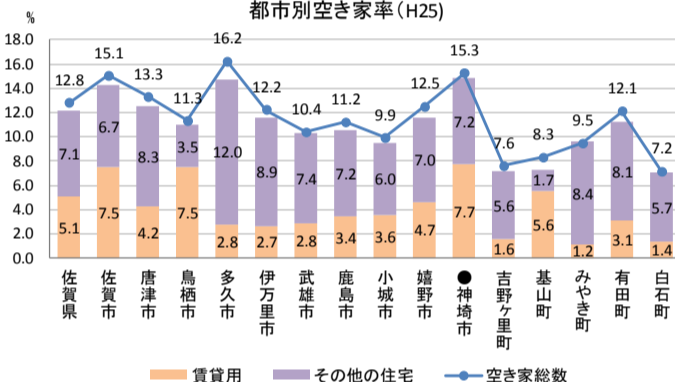
施策内容	事業評価	市民アンケートによる評価	コメント
(1) 地場産業、新産業の育成 (2) 賑わいある商工業の創出 (3) 活気ある農林水産業の振興 (4) 魅力ある観光の振興	 <p style="text-align: center;"> — 現在の評価(達成度) — 今後の重要度 </p>	 <p style="text-align: center;"> — 現在の満足度 — 今後の重要度 </p>	<p>【現在の満足度・達成度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市民評価では、他分野と比較して、いずれの施策も満足度が低い水準となっている。 ➢ 事業評価では、「賑わいある商工業の創出」、「魅力ある観光の振興」への取組み評価が特に高い。 <p>【今後の重要度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「地場産業、新産業の育成」については、今後の重要度がともに最も評価が高い。 ➢ 「賑わいある商工業の創出」の重要度はギャップが大きく、取組み・取組み結果について、市民への周知が課題と考えられる。

施策	現状、課題	(付、㎡)																																																																																																																																																																																																																																																							
(1) 地場産業、新産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 経営耕作地の98%以上を田が占める中、農業就業人口の高齢化が進み、約6割が65歳以上となっている。現在は耕作放棄地率が県内水準を大きく下回っているが、担い手不足により将来的な増加が懸念されるため、担い手の育成や農地集約化など、耕作地活用の検討が必要である。 ➢ 佐賀県の事業で神埼市の特産品PRを行ったが、県内各地から集まる中でのPRに苦戦した。本市の農業振興のためには、販路拡大と担い手の育成を両輪で進めることで、市外へのアピール力の強化と、市民の「メイドイン神埼」への誇りの醸成へ繋げる必要がある。 ➢ 工業団地の増設・企業誘致は、税収や働き場所の創出といった点から市民の期待度も高いが、地場企業の増設や移転に対する支援制度がないため、今後は地場企業の支援を検討する必要がある。 ➢ 工場立地ゾーンを中心に周辺の自然環境や生活環境に配慮しながら、企業ニーズに見合う工業用地の整備計画について検討する必要がある。 	 																																																																																																																																																																																																																																																							
(2) 賑わいある商工業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 郊外型の大型店出店等により中心部の商店街が危機的状況であり、廃業した店舗、空き屋等が目立ち昔の賑わいを失っている。「まちなみ整備事業」で実施した、長崎街道に誘客拠点を設け、商店街復興を目指す事業の支援は、観光的観点の商店活性化に一定の効果があった。一方で、市民は日々の買い物にも車を使用しなければならず、買い物弱者の救済ができるような、商店街活性化を目指す必要がある。 ➢ 本市の過去10年における特産品開発は、菱を中心とした神埼菱焼酎・ひしぼろが挙げられる。地元西九州大学との開発連携を進める一方、原料となる菱の実の安定供給や組合の運営など、「継続できる商品開発スキーム」を構築する必要がある(平成24年より菱の水田栽培の取組み中)。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <caption>大規模小売店舗立地状況(法第5条第1項に基づき届け出による。1000㎡超、H13~H29.3)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>ショッピングセンター</th> <th>総合スーパー</th> <th>食品スーパー</th> <th>ホームセンター</th> <th>衣料</th> <th>家電</th> <th>ディスカウント</th> <th>ドラッグストア</th> <th>スポーツ用品</th> <th>レンタルショップ</th> <th>総計</th> <th>店舗面積計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐賀市</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>40</td> <td>185,087</td> </tr> <tr> <td>唐津市</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>4</td> <td>9</td> <td></td> <td>23</td> <td>58,476</td> </tr> <tr> <td>鳥栖市</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>50,264</td> </tr> <tr> <td>多久市</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>3,372</td> </tr> <tr> <td>伊万里市</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> <td>8</td> <td>20,396</td> </tr> <tr> <td>武雄市</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>8</td> <td>27,544</td> </tr> <tr> <td>鹿島市</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>6</td> <td>11,852</td> </tr> <tr> <td>小城市</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>7</td> <td>15,033</td> </tr> <tr> <td>埴野市</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>2,773</td> </tr> <tr> <td>神埼市</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>4,054</td> </tr> <tr> <td>吉野ヶ里町</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>3,517</td> </tr> <tr> <td>茶山町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1,477</td> </tr> <tr> <td>上峰町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>4,553</td> </tr> <tr> <td>みやま町</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>7</td> <td>26,433</td> </tr> <tr> <td>有田町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3,302</td> </tr> <tr> <td>江北町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3,658</td> </tr> <tr> <td>白石町</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>3,218</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>26</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>44</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>128</td> <td>425,009</td> </tr> </tbody> </table>		ショッピングセンター	総合スーパー	食品スーパー	ホームセンター	衣料	家電	ディスカウント	ドラッグストア	スポーツ用品	レンタルショップ	総計	店舗面積計	佐賀市	3	1	10	3	3	1	4	12	2	1	40	185,087	唐津市			6	3			1	4	9		23	58,476	鳥栖市	1	1	1	1			1	2	4	1	12	50,264	多久市											1	3,372	伊万里市			1	1			1	3	2		8	20,396	武雄市			2	1	1	1	1	2	2		8	27,544	鹿島市			1				1	2	2		6	11,852	小城市			2	1			2	2	2		7	15,033	埴野市			1				1	1	1		2	2,773	神埼市				1				2			3	4,054	吉野ヶ里町			1								1	3,517	茶山町								1	1		1	1,477	上峰町								1	1		2	4,553	みやま町			1	1			1	2	2		7	26,433	有田町								1	1		2	3,302	江北町							1	1	1		2	3,658	白石町			1					1	1		2	3,218	総計	4	3	26	14	4	7	22	44	2	2	128	425,009
	ショッピングセンター	総合スーパー	食品スーパー	ホームセンター	衣料	家電	ディスカウント	ドラッグストア	スポーツ用品	レンタルショップ	総計	店舗面積計																																																																																																																																																																																																																																													
佐賀市	3	1	10	3	3	1	4	12	2	1	40	185,087																																																																																																																																																																																																																																													
唐津市			6	3			1	4	9		23	58,476																																																																																																																																																																																																																																													
鳥栖市	1	1	1	1			1	2	4	1	12	50,264																																																																																																																																																																																																																																													
多久市											1	3,372																																																																																																																																																																																																																																													
伊万里市			1	1			1	3	2		8	20,396																																																																																																																																																																																																																																													
武雄市			2	1	1	1	1	2	2		8	27,544																																																																																																																																																																																																																																													
鹿島市			1				1	2	2		6	11,852																																																																																																																																																																																																																																													
小城市			2	1			2	2	2		7	15,033																																																																																																																																																																																																																																													
埴野市			1				1	1	1		2	2,773																																																																																																																																																																																																																																													
神埼市				1				2			3	4,054																																																																																																																																																																																																																																													
吉野ヶ里町			1								1	3,517																																																																																																																																																																																																																																													
茶山町								1	1		1	1,477																																																																																																																																																																																																																																													
上峰町								1	1		2	4,553																																																																																																																																																																																																																																													
みやま町			1	1			1	2	2		7	26,433																																																																																																																																																																																																																																													
有田町								1	1		2	3,302																																																																																																																																																																																																																																													
江北町							1	1	1		2	3,658																																																																																																																																																																																																																																													
白石町			1					1	1		2	3,218																																																																																																																																																																																																																																													
総計	4	3	26	14	4	7	22	44	2	2	128	425,009																																																																																																																																																																																																																																													
(3) 活気ある農林水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 中山間地域における直接支払い事業においては、協定農用地として5年間の耕作・維持管理を行う必要があり、高齢化や後継者不足が問題となっている中山間地域において、当事業の活用を辞退する集落が出ている。 ➢ また、鳥獣被害防止のため駆除委託を行っている猟友会員でも、高齢化は同様に見られる現象であり、農林水産業全般における担い手の確保が必要である。 ➢ 事業者個別での取り組みは負担が大きいため、農事法人化や担い手への農地の集積を推進しているものの、法人化が進まない、担い手たる存在がないといった問題がある。佐賀県内では本市は最も集落営農組織の法人化率が高いが、地区により法人化連絡協議会がないところもあるため、立ち上げを平成29年度中に実施する。 ➢ 特産品開発と連動するように菱の収穫を安定的に行う必要があるが、育成状況が悪かった平成25年は収穫が止められたといった経緯がある。本市および本市の農林水産業の魅力づくりのためにも、アクシデントへの対応力強化を図る必要がある。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <caption>農業就業人口の推移</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">総数</th> <th colspan="3">年齢層別</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>15~29歳</th> <th>30~59歳</th> <th>60歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>2,858</td> <td>1,365</td> <td>1,493</td> <td>218</td> <td>604</td> <td>2,036</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>999</td> <td>507</td> <td>492</td> <td>45</td> <td>261</td> <td>693</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>761</td> <td>397</td> <td>364</td> <td>27</td> <td>157</td> <td>577</td> </tr> <tr> <td>H17割合</td> <td>100%</td> <td>48%</td> <td>52%</td> <td>8%</td> <td>21%</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td>H27割合</td> <td>100%</td> <td>52%</td> <td>48%</td> <td>4%</td> <td>21%</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>H17~27増減</td> <td>-2,097</td> <td>-968</td> <td>-1,129</td> <td>-191</td> <td>-447</td> <td>-1,459</td> </tr> <tr> <td>//増減率</td> <td>-73%</td> <td>-71%</td> <td>-76%</td> <td>-88%</td> <td>-74%</td> <td>-72%</td> </tr> </tbody> </table> 		総数	年齢層別			男	女	15~29歳	30~59歳	60歳以上	H17	2,858	1,365	1,493	218	604	2,036	H22	999	507	492	45	261	693	H27	761	397	364	27	157	577	H17割合	100%	48%	52%	8%	21%	71%	H27割合	100%	52%	48%	4%	21%	76%	H17~27増減	-2,097	-968	-1,129	-191	-447	-1,459	//増減率	-73%	-71%	-76%	-88%	-74%	-72%																																																																																																																																																																																												
	総数	年齢層別																																																																																																																																																																																																																																																							
		男	女	15~29歳	30~59歳	60歳以上																																																																																																																																																																																																																																																			
H17	2,858	1,365	1,493	218	604	2,036																																																																																																																																																																																																																																																			
H22	999	507	492	45	261	693																																																																																																																																																																																																																																																			
H27	761	397	364	27	157	577																																																																																																																																																																																																																																																			
H17割合	100%	48%	52%	8%	21%	71%																																																																																																																																																																																																																																																			
H27割合	100%	52%	48%	4%	21%	76%																																																																																																																																																																																																																																																			
H17~27増減	-2,097	-968	-1,129	-191	-447	-1,459																																																																																																																																																																																																																																																			
//増減率	-73%	-71%	-76%	-88%	-74%	-72%																																																																																																																																																																																																																																																			
(4) 魅力ある観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 本市の代表的な観光資源である、仁比山公園や横武クリーク公園といった観光スポットの整備は継続して実施している。併せて、新たな資源の掘り下げについても観光振興の一環として取り組んでいる一方、観光全般への投資回収が不安であり、観光協会の財政面や物産所の収支、九年庵の来訪数減少といった実情もあるため、観光客数増加とともに地域にお金が落ちる仕組みづくりの検討が必要である。 ➢ 吉野ヶ里遺跡の観光案内人や、「くねんワン」「くねんニャン」といったソフトの充実が好評を得ており、観光PRへ更に活用していく必要がある。 ➢ 観光産業の活性化には何度も訪れたくなる仕掛けは不可欠であり、県と連携して取り組んだ、食と関連付けた観光資源磨き上げ等はその一例である。ハードとソフト、および地域が一体となった「神埼ファンづくり」を目指す必要がある。 	  																																																																																																																																																																																																																																																							

方針 3.環境にやさしく住みやすいまちづくり【自然環境・都市基盤・定住促進】

施策内容	事業評価	市民アンケートによる評価	コメント
(1) 環境共生型社会の構築 (2) 豊かな自然環境の保全と活用 (3) まちなみと住環境の整備 (4) 道路・交通網の整備・充実 (5) 上・下水道の整備 (6) 消防・防災・交通安全体制等の充実 (7) 高度情報通信基盤の整備 (8) 定住を促進する環境の整備 (9) 消費生活環境の充実	<p>現在の評価(達成度) 今後の重要度</p>	<p>現在の満足度 今後の重要度</p>	<p>【現在の満足度・達成度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民評価では、「消防・防災・交通安全体制等の充実」は他の施策より評価が高く、「道路・交通網の整備・充実」「定住を促進する環境の整備」は他の施策より評価が低い。 事業評価では、「豊かな自然環境の保全と活用」「上・下水道の整備」「消費生活環境の充実」について、達成度が高く評価されている。 <p>【今後の重要度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道路・交通網の整備・充実」「消防・防災・交通安全体制等の充実」については、ともに重要度が高く評価されている。 事業評価では「高度情報通信基盤の整備」が上記の施策と同様に重要度が高いが、市民評価では「定住を促進する環境の整備」が上記の施策と同様に重要度が高い。

施策	現状、課題																																																																																																																																	
(1) 環境共生型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> 快適環境推進員を中心に環境教育・啓発活動を推進する必要がある。 地球温暖化対策のため、太陽光発電をはじめとした公共施設への再生可能エネルギー設備の導入や維持管理、庁舎等における省エネ対策に努める必要がある。 脊振共同塵芥処理組合との連携により、ごみの減量化・再資源化を図る必要がある。 																																																																																																																																	
(2) 豊かな自然環境の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> 本市の大きな特色となっている山並みや河川、豊かな田園など変化のある自然環境、自然景観の積極的な維持保全が必要である。 河川については、治水機能の向上、水辺環境の保全等を図り、河川の多様な機能の増進を図る必要がある。 平地部のクリークは、かけがえのない資産として、保全、活用に取り組む必要がある。 森林組合が行う林業施策に対し補助を行うなど、市内の森林所有者の林業経営の改善及び健全な森林の育成等を向上させる必要がある。 クリーン作戦や、除草作業、年 2 回の神埼駅北側のコスモスや菜の花の作付等を継続し、自然豊かできれいな風景を維持し続ける必要がある。 																																																																																																																																	
(3) まちなみと住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 旧長崎街道のまちなみをはじめ、身近な生活空間においても景観に配慮した建物やまちなみの手入れ、公共空間の整備などを積み重ね、景観の質的向上を図る必要がある。 神埼中央公園の環境を維持するため、工作物の補修を計画的に行う必要がある。 住生活基本計画の策定及び公営住宅等長寿命化計画の見直しを進め、それらの計画に基づき、安心して生活できる住宅、住環境づくりや公営住宅等の計画的な更新、改善、修繕、居室内の段差解消や手すり設置等のバリアフリー化等を進め、市内における住生活の安定の確保及び向上の促進を図る必要がある。 神崎市・吉野ヶ里町葬祭組合による葬祭公園整備の早期完了(平成 32 年度目標)のため、基本設計、実施設計や都市計画手続きを加速化していく必要がある。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>市営住宅の状況(平成 27 年 4 月 1 日現在)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">戸数</th> </tr> <tr> <th>公営住宅</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神埼町</td> <td>170</td> <td>0</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>千代田町</td> <td>106</td> <td>0</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>脊振町</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>294</td> <td>20</td> <td>314</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他は、若者定住住宅 資料: 市政概要(建設課)</p>		戸数			公営住宅	その他	計	神埼町	170	0	170	千代田町	106	0	106	脊振町	18	20	38	計	294	20	314																																																																																																										
	戸数																																																																																																																																	
	公営住宅	その他	計																																																																																																																															
神埼町	170	0	170																																																																																																																															
千代田町	106	0	106																																																																																																																															
脊振町	18	20	38																																																																																																																															
計	294	20	314																																																																																																																															
(4) 道路・交通網の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県の中核都市圏内に位置する本市において、周辺都市との円滑な連携を強化していくため、長崎自動車道東脊振 IC へのアクセス、国道 34 号をはじめとする国道や県道の交通機能の向上など、広域交通体系を充実させていくことが必要である。 市内を南北に縦貫する幹線道路を整備し、市内の南北方向の軸の強化を図り、市の一体性を確保する必要がある。 道路新設、改良について、地元合意に基づき、計画的に実施する必要がある。 公共施設等総合管理計画や個別の長寿命化計画に基づき、道路パトロールの増大による不具合道路の早期発見及び舗装面の補修、道路台帳の更新等を行い、市道 982 路線・約 503km の計画的かつ適切な維持管理に努める必要がある。 関係機関との連携によるガードレール、転落防止柵、カーブミラー、視線誘導標・外側線等の整備により、交通事故の抑制及び防止を図り、通行者の安全性を確保する必要がある。 鉄道や路線バス、巡回バスの維持、運行改善、乗換機能、接続性の向上に加え、運転免許証自主返納者等の交通弱者に対するサービス提供等により、市民の外出時の移動手段を確保し、利便性向上を図る必要がある。 とくに脊振地域については通学を含め生活を支える交通機関となっており、適切に対応していく必要がある。 JR 神埼駅南北に整備済の駅前広場を通勤通学、買い物、観光などの交通拠点として利便性を高め、また市の顔として周辺景観の整備等を進めていくことが必要である <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>道路・橋梁の状況 (基準日: 平成 27 年 4 月 1 日現在)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>路線数</th> <th>総延長 (m)</th> <th>舗装率</th> <th>橋梁数</th> <th>延長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道</td> <td>3</td> <td>24,971</td> <td>100.00%</td> <td>73</td> <td>1,222</td> </tr> <tr> <td>県道</td> <td>19</td> <td>98,846</td> <td>100.00%</td> <td>114</td> <td>1,771</td> </tr> <tr> <td>市道</td> <td>962</td> <td>495,941 (内未舗装 13,758)</td> <td>97.22%</td> <td>686</td> <td>5,368</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>984</td> <td>619,758</td> <td>97.78%</td> <td>873</td> <td>8,361</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料: 建設課</p>	区分	路線数	総延長 (m)	舗装率	橋梁数	延長 (m)	国道	3	24,971	100.00%	73	1,222	県道	19	98,846	100.00%	114	1,771	市道	962	495,941 (内未舗装 13,758)	97.22%	686	5,368	合計	984	619,758	97.78%	873	8,361																																																																																																			
区分	路線数	総延長 (m)	舗装率	橋梁数	延長 (m)																																																																																																																													
国道	3	24,971	100.00%	73	1,222																																																																																																																													
県道	19	98,846	100.00%	114	1,771																																																																																																																													
市道	962	495,941 (内未舗装 13,758)	97.22%	686	5,368																																																																																																																													
合計	984	619,758	97.78%	873	8,361																																																																																																																													
(5) 上・下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度の神崎市全体の上水道普及率は 96.2% で、平地部では佐賀東部水道企業団と連携した給水、山間部では地下水及び自然水等の水源を利用した給水が行われており、水質管理の強化を図りながら安心して安全な良質な水を安定的に供給する必要がある。 平成 28 年度末の公共下水道と浄化槽等をあわせた普及率は 75.7% であり、今後も公共下水道や浄化槽の整備を進めるとともに、その普及のための啓発活動を行うことが必要である。 上下水道ともに、今後は既設管や処理施設等の維持管理に大きな費用が発生すると見込まれることから、長寿命化計画等に即して対応を図る必要がある。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の状況(平成 27 年 3 月 31 日現在)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">公共下水道</th> <th colspan="3">農業集落排水</th> <th colspan="2">合併処理浄化槽</th> <th rowspan="2">水洗化・処理人口</th> <th rowspan="2">水洗化・処理率</th> </tr> <tr> <th>処理人口(人)</th> <th>水洗化人口(人)</th> <th>接続率(%)</th> <th>処理人口(人)</th> <th>水洗化人口(人)</th> <th>接続率(%)</th> <th>処理人口(人)</th> <th>接続戸数(戸)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>8,588</td> <td>4,910</td> <td>57.2</td> <td>627</td> <td>470</td> <td>74.9</td> <td>11,762</td> <td>3,361</td> <td>17,142</td> <td>51.1%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>9,298</td> <td>5,789</td> <td>62.3</td> <td>637</td> <td>452</td> <td>71.0</td> <td>11,468</td> <td>3,277</td> <td>17,709</td> <td>53.2%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>9,477</td> <td>6,276</td> <td>66.2</td> <td>619</td> <td>464</td> <td>75.0</td> <td>11,990</td> <td>3,353</td> <td>18,730</td> <td>56.6%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>9,533</td> <td>6,498</td> <td>68.2</td> <td>600</td> <td>476</td> <td>79.3</td> <td>12,338</td> <td>3,525</td> <td>19,312</td> <td>58.4%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10,051</td> <td>7,114</td> <td>70.8</td> <td>593</td> <td>457</td> <td>77.1</td> <td>12,451</td> <td>3,557</td> <td>20,022</td> <td>60.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料: 佐賀県の汚水処理人口普及率調査</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>水道給水状況</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>行政区内人口(人)</th> <th>給水区域内人口(人)</th> <th>現在給水人口(人)</th> <th>(F) 給水普及率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>33,890</td> <td>31,776</td> <td>29,736</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td>33,987</td> <td>31,894</td> <td>29,969</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>33,740</td> <td>31,677</td> <td>29,833</td> <td>94.2</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>33,672</td> <td>31,654</td> <td>29,853</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>33,593</td> <td>31,535</td> <td>29,952</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>33,353</td> <td>31,398</td> <td>29,716</td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>33,148</td> <td>31,228</td> <td>29,670</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>33,017</td> <td>31,255</td> <td>30,005</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>32,801</td> <td>31,062</td> <td>30,039</td> <td>96.7</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>32,532</td> <td>30,875</td> <td>29,532</td> <td>95.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※給水普及率=現在給水人口÷給水区域内人口 資料: 佐賀東部水道企業団年度事業年報</p>	年度	公共下水道			農業集落排水			合併処理浄化槽		水洗化・処理人口	水洗化・処理率	処理人口(人)	水洗化人口(人)	接続率(%)	処理人口(人)	水洗化人口(人)	接続率(%)	処理人口(人)	接続戸数(戸)	H22	8,588	4,910	57.2	627	470	74.9	11,762	3,361	17,142	51.1%	H23	9,298	5,789	62.3	637	452	71.0	11,468	3,277	17,709	53.2%	H24	9,477	6,276	66.2	619	464	75.0	11,990	3,353	18,730	56.6%	H25	9,533	6,498	68.2	600	476	79.3	12,338	3,525	19,312	58.4%	H26	10,051	7,114	70.8	593	457	77.1	12,451	3,557	20,022	60.7%	年度	行政区内人口(人)	給水区域内人口(人)	現在給水人口(人)	(F) 給水普及率(%)	H17	33,890	31,776	29,736	93.6	H18	33,987	31,894	29,969	94.0	H19	33,740	31,677	29,833	94.2	H20	33,672	31,654	29,853	94.3	H21	33,593	31,535	29,952	95.0	H22	33,353	31,398	29,716	94.6	H23	33,148	31,228	29,670	95.0	H24	33,017	31,255	30,005	96.0	H25	32,801	31,062	30,039	96.7	H26	32,532	30,875	29,532	95.7
年度	公共下水道			農業集落排水			合併処理浄化槽		水洗化・処理人口	水洗化・処理率																																																																																																																								
	処理人口(人)	水洗化人口(人)	接続率(%)	処理人口(人)	水洗化人口(人)	接続率(%)	処理人口(人)	接続戸数(戸)																																																																																																																										
H22	8,588	4,910	57.2	627	470	74.9	11,762	3,361	17,142	51.1%																																																																																																																								
H23	9,298	5,789	62.3	637	452	71.0	11,468	3,277	17,709	53.2%																																																																																																																								
H24	9,477	6,276	66.2	619	464	75.0	11,990	3,353	18,730	56.6%																																																																																																																								
H25	9,533	6,498	68.2	600	476	79.3	12,338	3,525	19,312	58.4%																																																																																																																								
H26	10,051	7,114	70.8	593	457	77.1	12,451	3,557	20,022	60.7%																																																																																																																								
年度	行政区内人口(人)	給水区域内人口(人)	現在給水人口(人)	(F) 給水普及率(%)																																																																																																																														
H17	33,890	31,776	29,736	93.6																																																																																																																														
H18	33,987	31,894	29,969	94.0																																																																																																																														
H19	33,740	31,677	29,833	94.2																																																																																																																														
H20	33,672	31,654	29,853	94.3																																																																																																																														
H21	33,593	31,535	29,952	95.0																																																																																																																														
H22	33,353	31,398	29,716	94.6																																																																																																																														
H23	33,148	31,228	29,670	95.0																																																																																																																														
H24	33,017	31,255	30,005	96.0																																																																																																																														
H25	32,801	31,062	30,039	96.7																																																																																																																														
H26	32,532	30,875	29,532	95.7																																																																																																																														

施策	現状、課題																																																																				
(6) 消防・防災・交通安全体制等の充実	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県は人口10万人あたりの交通事故発生件数が全国で5年連続ワースト1になっており、神崎市は県内でもワーストを推移しているため、事故多発箇所の要素(場所、時間帯、事故の種類、年齢層)に応じた対策が必要である。 安心、安全なまちづくりを進めるため、市民の防災、防犯意識の向上、新たな防災無線の構築を図るとともに、地震、山間部での土砂災害、平地部での浸水等の被害の未然防止や最小化のための各種整備を進める必要がある。 城原川等の治水管理について適切な対応を図るとともに、城原川両岸の浸水想定区域については、洪水の抑止対策や避難地の確保などのハード面と、住民の防災に対する意識の啓蒙などソフト面の対応により、人的被害はもとより、物的被害の抑止に向けた対応を図ることが必要である。 																																																																				
(7) 高度情報通信基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> 個人番号カードでの各種証明書のコンビニ交付等のサービスの拡充等を図ることにより、個人番号カードの普及を促進する必要がある。 市内のどこでもICTの利活用ができるように、公共施設においてセキュリティ性が高く、市の実情にあった無線ネットワークの構築が必要である。 ケーブルテレビの更なる加入世帯の増加を目指し、事業検討を行うことが必要である。 eLTAX(エルタックス)による課税業務の電子化など、情報技術の発展にあわせてシステムを構築し、行政運営の効率化施策と連携して、対応を図ることが必要である。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" data-bbox="415 655 1192 845"> <caption>主なeLTAX(エルタックス)利用件数</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">H27年度(件)</th> <th colspan="4">H28年度(件)</th> </tr> <tr> <th>給報</th> <th>年金</th> <th>法人</th> <th>計</th> <th>給報</th> <th>年金</th> <th>法人</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者</td> <td>20,376</td> <td>15,277</td> <td>802</td> <td>36,455</td> <td>20,362</td> <td>15,199</td> <td>829</td> <td>36,390</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>4,323</td> <td>15,140</td> <td>475</td> <td>19,938</td> <td>5,394</td> <td>15,115</td> <td>552</td> <td>21,061</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>21%</td> <td>99%</td> <td>59%</td> <td>55%</td> <td>26%</td> <td>99%</td> <td>67%</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1287 635 1963 845"> <caption>コンビニ収納件数の推移</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>指数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23年度</td> <td>18,772</td> <td>100</td> <td rowspan="2">H23～24年度は税金及び保育料の件数</td> </tr> <tr> <td>H24年度</td> <td>24,578</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>32,239</td> <td>172</td> <td rowspan="4">H25年度以降は、税金、保育料の他、住宅使用料、後期高齢保険料等含む件数</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>34,268</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>36,251</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>37,045</td> <td>197</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">税務課</p>		H27年度(件)				H28年度(件)				給報	年金	法人	計	給報	年金	法人	計	対象者	20,376	15,277	802	36,455	20,362	15,199	829	36,390	利用件数	4,323	15,140	475	19,938	5,394	15,115	552	21,061	利用率	21%	99%	59%	55%	26%	99%	67%	58%		件数	指数	備考	H23年度	18,772	100	H23～24年度は税金及び保育料の件数	H24年度	24,578	131	H25年度	32,239	172	H25年度以降は、税金、保育料の他、住宅使用料、後期高齢保険料等含む件数	H26年度	34,268	183	H27年度	36,251	193	H28年度	37,045	197
	H27年度(件)				H28年度(件)																																																																
	給報	年金	法人	計	給報	年金	法人	計																																																													
対象者	20,376	15,277	802	36,455	20,362	15,199	829	36,390																																																													
利用件数	4,323	15,140	475	19,938	5,394	15,115	552	21,061																																																													
利用率	21%	99%	59%	55%	26%	99%	67%	58%																																																													
	件数	指数	備考																																																																		
H23年度	18,772	100	H23～24年度は税金及び保育料の件数																																																																		
H24年度	24,578	131																																																																			
H25年度	32,239	172	H25年度以降は、税金、保育料の他、住宅使用料、後期高齢保険料等含む件数																																																																		
H26年度	34,268	183																																																																			
H27年度	36,251	193																																																																			
H28年度	37,045	197																																																																			
(8) 定住を促進する環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀建設技術専門学院の運営補助を行うことで職業訓練の場を確保し、雇用の安定を図るとともに、勤労者支援の継続、充実を図る必要がある。 美活スクール(婚活イベント)等により市内での出会いの場を提供するとともに、神崎市への定住を促すしかけを意識した事業内容の検討が必要である。 本市における住宅総数13,240戸のうち空き家は2,020戸で、住宅総数の15.3%と県下第2位の高さであり、この5ヶ年で大きく増加しているため、対策が必要である。 特に賃貸用の住宅の空き室の割合が7.7%と、県内で最も高い割合となっており、賃貸用の空室への対策が必要である。 市内の住宅取得者への補助、空き家・空き地バンク制度、空き家改修費用の助成などの、定住促進対策を継続するとともに、広く情報発信を行い、本市への移住定住の利点としてPRすることが必要である。 <div style="text-align: right;"> <p>土地・住宅統計調査における居住の有無別住宅数の区分 (数値はH25神崎市の値 単位:戸、割合は住宅総数に対する割合)</p> <table border="1" data-bbox="1367 908 1976 1092"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>同居世帯あり</td> <td>11,210</td> </tr> <tr> <td>同居世帯なし</td> <td>11,190</td> </tr> <tr> <td>一時現在者のみ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>二次的住宅(別荘など)</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>賃貸用の住宅(アパート空室など)</td> <td>1,020(7.7%)</td> </tr> <tr> <td>売却用の住宅</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他の住宅(いわゆる空き家に該当)</td> <td>950(7.2%)</td> </tr> <tr> <td>建築中</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(抽出調査のため合計が一致しない場合がある) ※1 通常発表される空き家率は、この空き家数を住宅総数で除した値(=15.3%)</p> <p>都市別空き家率(H25)</p>  </div>	区分	数値	同居世帯あり	11,210	同居世帯なし	11,190	一時現在者のみ	0	二次的住宅(別荘など)	40	賃貸用の住宅(アパート空室など)	1,020(7.7%)	売却用の住宅	10	その他の住宅(いわゆる空き家に該当)	950(7.2%)	建築中	0																																																		
区分	数値																																																																				
同居世帯あり	11,210																																																																				
同居世帯なし	11,190																																																																				
一時現在者のみ	0																																																																				
二次的住宅(別荘など)	40																																																																				
賃貸用の住宅(アパート空室など)	1,020(7.7%)																																																																				
売却用の住宅	10																																																																				
その他の住宅(いわゆる空き家に該当)	950(7.2%)																																																																				
建築中	0																																																																				
(9) 消費生活環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 消費者に対する悪徳商法は巧妙化、広域化など悪質化が進んでおり、消費者保護の強化に加え、消費者意識の啓発、消費者グループへの支援、消費生活相談などを今後も継続することで被害の未然防止、最小化を図り、市民の消費生活の安全を守ることが必要である。 																																																																				

方針 4.創造性豊かで輝く人の育つまちづくり【教育・文化・交流】

施策内容	事業評価	市民アンケートによる評価	コメント
(1) 幼児教育・学校教育の充実 (2) 生涯学習、スポーツ活動の充実・振興 (3) 歴史、文化の保存・継承 (4) 地域交流、国際交流の推進			【現在の満足度・達成度】 ▶ 市民評価では、いずれの施策の満足度も中程度であるが、他の分野の施策と比べると評価が高い。 ▶ 事業評価では、いずれの施策も予定していた事業が概ね達成できていると評価されている。 【今後の重要度】 ▶ 市民評価では、「幼児教育・学校教育の充実」が他の項目と比べても重要度が高いと評価されている。 ▶ 事業評価では、いずれの項目も重要度が高いが、特に「歴史、文化の保存・継承」の重要度が高いと評価されている。

施策	現状、課題
(1) 幼児教育・学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大型整備事業である「外壁・屋根防水工事」、「空調整備工事」が終了し、「体育館改修工事」が計画的に進めている状況である。学校施設・設備については、老朽化、故障等で不具合が発生しているが、予算面を考慮しながら緊急性、危険性が高い順から整備、修理を行っている。公共施設総合管理計画等を踏まえながら対応を図っていくことが必要である。 ▶ 学校現場での ICT 環境は充実しているものの、機器の耐用年数による更新や 1 人 1 台の学習用端末の整備については、多額の費用を要することから整備が遅れており、対応が必要である。 ▶ 学校教育カリキュラム等については、小学校 3、4 年生の外国語活動の導入及び 5、6 年生の外国語授業数増の対応が求められており、学力の向上とあわせて必要な対応を図っていくことが必要である。 ▶ 児童生徒の貧困、学習障害・広汎性発達障害等、個別の事情に対応した施策についても、人材派遣、スペースの確保などを行うことが必要である。 ▶ 脊振町の通学バスは、地域住民の足としての役割を重視しつつも、利用者減による運行費用の負担軽減等の対応を検討することが必要である。
(2) 生涯学習、スポーツ活動の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 放課後子ども教室は、全ての子どもを対象とし、放課後児童クラブは、共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して行っている。平成 28 年度から児童クラブは希望者全員を受け入れる方針で実施している。少子高齢社会となっているが、児童クラブへの入会希望者は全国的にも増加傾向にあり、支援員の確保や場所の確保が必要である。 ▶ 心豊かで充実した人生を送るために、生涯学習への意欲が高まっている。また、学習のニーズも多様化してきている。こうしたニーズに対応できるよう、各種施設の適切な維持管理や整備に取り組んでいくことが必要である。 ▶ 様々な生涯学習やスポーツに取り組む人を増やすため、引き続き周知活動を行っていくことが必要である。
(3) 歴史、文化の保存・継承	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 豊富な歴史資源は市民の誇りであるとともに、本市のまちづくりにおける重要な資源である。福岡都市圏をターゲットとして神埼市の魅力を PR し、市の観光、グルメ情報の発信及び定住、移住の促進を目的とした事業を実施するなど、歴史文化の保全は、観光や他都市との交流等と密接に関わることから、関連部局との連携を密にして対応を図ることが必要である。 ▶ 姉川城跡や旧古賀銀行神埼支店の整備を進めているところであるが、勢福寺城跡や伊東玄朴等といった歴史文化資源の整備や市内文化財のサインの設置、修繕等を進めていくことが必要である。 ▶ 旧神埼町、千代田町、脊振村の町村史しかない現状であるため、神埼市史を編纂する。平成 28 年度より着手し、平成 29 年度には市史編纂室が新設されて、編纂委員会や執筆委員会、市史編纂のための各種調査を実施して取り組んでいる。こうした取り組みにあわせて市内に残る伝統芸能や行事の保存についても着実に取り組んでいくことが必要である。 ▶ 郷土の歴史の継承に向けて、郷土の偉人の顕彰、各種団体の取組への支援や小中学校と連携した啓発活動に取り組んでいくことが必要である。
(4) 地域交流、国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 姉妹都市であるポーカール市をはじめ、韓国、中国等と幅広く国際交流事業を展開してきている。神埼市、ポーカール市それぞれの代表団(トップ)の交流が中心だったが、今後は他の国際交流先進地の事例を参考とし、姉妹都市交流の目指す方向性、取組を明確化するなど、導入期、定着期を経て、さらに次の段階に進めるにあたって様々な課題を整理して展開を図ることが必要である。 ▶ ふるさと夏まつり事業は地域に根付いた一大イベントとして恒例になっている。合併後 10 年を経て、地域団体や市民のさらなる交流を促す取組を行っていくことが必要である。

学校の状況 (小学校)

項目	神埼小	西郷小	仁比山小	千代田東部小	千代田中部小	千代田西部小	脊振小	計	
学級数	22	12	10	7	12	11	6	80	
教員数(人)	37	19	16	14	19	16	11	132	
児童数(人)	男	332	121	136	89	120	123	37	958
	女	308	104	108	80	114	131	37	882
計	640	225	244	169	234	254	74	1,840	

(中学校)

項目	神埼中	千代田中	脊振中	計	
学級数	18	11	5	34	
教員数(人)	39	24	11	74	
生徒数(人)	男	261	165	24	450
	女	252	151	25	428
計	513	316	49	878	

(平成 27 年 5 月 1 日現在)
資料: 学校基本調査

H26公立図書館の状況 (単位:人冊)

	職員数		年間館内 利用人員	館外貸出 利用人員	
	計	蔵書冊数		利用人員	利用冊数
県計	317	3,723,712	3,056,072	1,206,302	5,091,076
神埼市立図書館	計	8	45,873	30,510	20,988
	本館	6	28,533	21,430	16,745
	千代田分館	1	9,498	3,031	3,031
	脊振分館	1	7,842	6,049	1,212

資料: まなび課「佐賀県の生涯学習・社会教育」

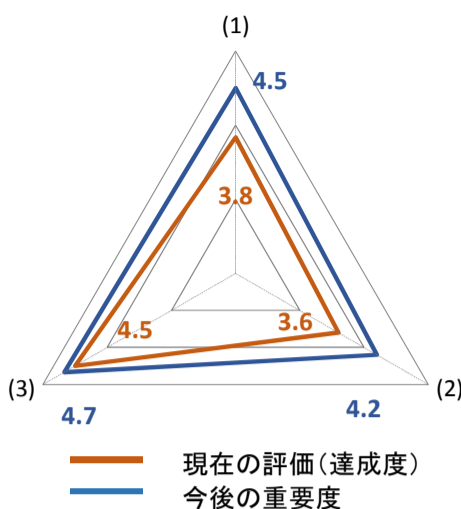
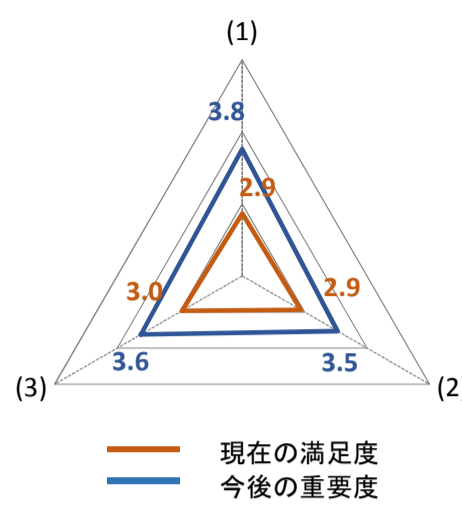
H23 公共社会体育施設数

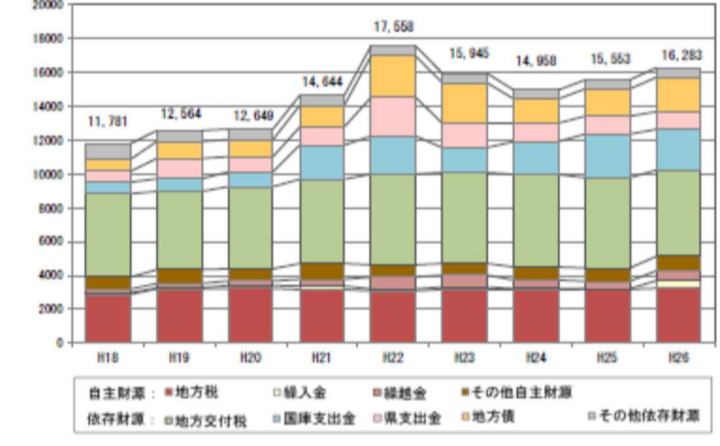
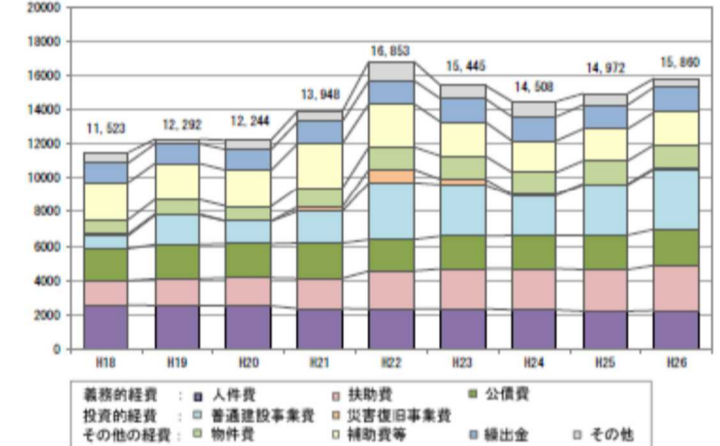
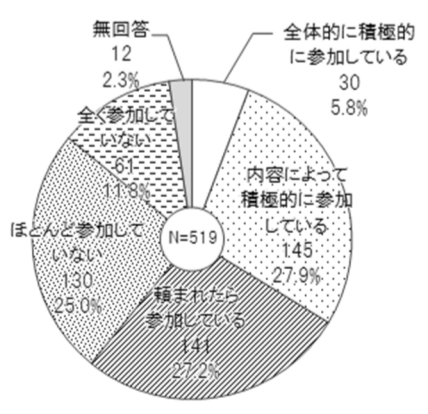
	社会体育施設 総数	体育館・体育 室	陸上 競技場	野球場・ソフト ボール場	運動広 場	テニス コート	ゲート ボール コート	柔剣道 場	弓道場	相撲場	プール	ヨット場	キャンプ 場	オリエン テー リング 場
H23県計	783	108	8	34	153	52(206)	29(109)	30	16	18	28	7	37	
神埼市	26	6	-	-	5	3(6)	-	2	-	1	1	1	2	

※()内はコート数
資料: 県スポーツ課



方針 5. みんなで協働して進めるまちづくり【行財政改革・市民参画】

施策内容	事業評価	市民アンケートによる評価	コメント
(1) 行財政運営の効率化の推進 (2) 男女共同参画社会の推進 (3) 協働と市民活動の推進	 <p>現在の評価(達成度) 今後の重要度</p>	 <p>現在の満足度 今後の重要度</p>	【現在の満足度・達成度】 <ul style="list-style-type: none"> 市民評価では、いずれの項目も満足度は中程度となっている。 事業評価では、いずれの項目も事業が概ね達成されているが、特に「協働と市民活動の推進」に関わる項目の達成度が高い。 【今後の重要度】 <ul style="list-style-type: none"> 市民評価では、他の分野の施策と比べると重要度の評価は低くなっている。 事業評価では、「協働と市民活動の推進」の重要度が4.7と評価が高くなっているが、市民評価では、それほど高く評価されていない。

施策	現状、課題
(1) 行財政運営の効率化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 歳入は、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債などの依存財源の割合が高く、平成 26 年度決算では歳入総額の約 7 割を占め、地方税などの自主財源は約3割となっている。地方交付税(普通交付税分)については、合併特例措置額が平成 28 年度から 5 年間かけて段階的に削減されることから今後の財政運営は一層厳しくなることが想定され、計画的な財政運営が必要である。 市債については、平成 32 年度までは、合併特例事業債を有効に活用することとし、それ以降は、後年度負担に留意しながら、これまで取り組んできた交付税措置のある地方債を優先して発行するとともに、各種基金などの繰入金を効果的に活用するなどして事業実施のための財源確保に努める必要がある。 また、健全な財政運営を継続・維持していくために、財務諸表の積極的な活用による適正な行政コストの把握、資産管理を行い、財政の効率化、適正化に努める必要がある。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>■ 歳入決算額の推移 (普通会計)</p> <p>(百万円)</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>■ 歳出決算額の推移 (普通会計)</p> <p>(百万円)</p>  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年 3 月 20 日に合併し、市の庁舎は神埼町の庁舎を本庁舎、千代田町及び脊振村の庁舎を支所とし、現庁舎を有効活用するため、千代田庁舎に議会、教育委員会などの行政機能を一部分散している。庁舎分散化により、利用者の負担や事務執行における非効率化及び庁舎の維持管理費の増大が課題となっており、対応が必要である。 定員適正化計画に基づき、職員数の抑制を行ってきた結果、人口千人あたり職員数は 7.44 人と類似団体平均 9.81 人を大きく下回り効率化が図られている。平成 29 年度の職員数は 4 人増の 258 人であり、職員の削減は限界に近づいており、効率的な業務推進に向けて、外部委託の活用やICTの活用、職員のスキルアップを進める必要がある。
(2) 男女共同参画社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進に着実に取り組むとともに、これまでの進捗をふまえて、第 3 次神埼市男女共同参画基本計画の策定にあたる必要がある。 神埼市男女共同参画推進ネットワーク等との連携のもと、市内の各イベントや職員研修により、市民や職員に対する啓発を引き続き行っていく必要がある。 区長会、公民館長など男性による充て職が多い審議会の状況に対する対応が必要である。
(3) 協働と市民活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> これまで協働のまちづくりに取り組んできているものの、市民まちづくりアンケートにおいて、回答者の約4割が市民活動に「全く参加していない」か「ほとんど参加していない」状況にある。また、まちづくりに参加するには「どのような活動が行われているか情報がほしい」と回答者の 5 割以上が考えており、ホームページ等の情報発信を強化し、さらにまちづくりへの参加を増やす必要がある。 市民まちづくりアンケートにおいて、市民と行政が取り組めば有効であると考える項目として「福祉に関する分野(高齢者・障がい者福祉、介護など)」と回答した人が 42.6%で最も多く、次いで、「健康づくりに関する分野(保健、医療、健康予防など)」と回答した人が28.5%となっており、各施策や市民活動団体と連携し、積極的に協働のまちづくりを進める必要がある。 脊振町複合施設の整備など、協働のまちづくりの器となる施設の整備や適切な維持管理が必要である。 様々な市民活動団体と協働のまちづくりを進めており、今後もこうした連携は重要な位置を占めることから、こうした団体とのネットワーク体制の方向性について検討が必要である。 <div style="text-align: right;"> <p>■ 市民活動への参加について</p>  </div>

<神埼市の現状と課題（案）>

